

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバー

操作マニュアル

December 19, 2019

Version 4.1.0

Copyright (C) 2019 MEDIAEDGE Corporation

目次

1. はしめに	. 1
I-1. 本製品を使用される際の注意事項	. 2
■ 問い合わせ先	
■ 当社ホームページについて■ 注意事項	
■ 注息事項 ■ 個人情報の取り扱いについて	
■ 商標について	3
■ 警告	
I-2. 留意事項	
■ 表記について■ ご注意	
■ 利用許諾について	. 6
II. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーについて	. 7
II-1. 機能の概要	. 8
■ II-1-1. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの機能概要	. 8
■ II-1-2. 対応する WEB ブラウザ	. 9
III. クイックスタート	10
III-1. システムの初期設定	.11
III-2. WEB アプリケーションにログインする	14
III-3. VOD 配信を行う	15
III-4. ライブ配信を行う	16
■ III-4-1. ネットワークカメラまたは MEDIAEDGE LEB Pro2 などの RTSP 対応機器の場合	17
■ III-4-2. MEDIAEDGE-CLEB などの RTMP 対応機器の場合	18
IV. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの機能について	20
IV-1. ログイン	21
■ IV-1-1. パスワード入力を連続して間違えた場合	21
■ IV-1-2. 初期パスワードの変更	22
■ IV-1-3. ログアウト	23
■ IV-1-4. パスワードを忘れてしまった場合	23
IV-2. ページ構成	24
IV-3. ユーザー管理	28
■ IV-3-1. ユーザーの追加	28
■ IV-3-2. ユーザーの編集	30
■ IV-3-3. ユーザーのアドレス制限の編集	32
■ IV-3-4. ユーザーの削除	33
■ IV-3-5. ユーザーグループの追加	34
■ IV-3-6. ユーザーグループの編集	38
■ IV-3-7. ユーザーグループのアドレス制限の編集	39

■ 1V-3-8. LDAP 認証の設定	40
■ IV-3-9. LDAP ユーザーの紐づけの設定	43
■ IV-3-10. デフォルトの認証方式の変更	46
■ IV-3-11. ログイン時間帯	48
IV-4. コンテンツ管理	51
■ IV-4-1. ライブコンテンツの登録	51
■ IV-4-2. ライブコンテンツの視聴	56
■ IV-4-3. ライブコンテンツの録画	58
■ IV-4-4. ライブコンテンツをトランスコードして配信・録画(オプション)	60
■ IV-4-5. スケジュール録画	61
■ IV-4-6. VOD コンテンツの登録	64
■ IV-4-7. コンテンツの詳細	66
■ IV-4-8. コンテンツのカテゴリ	67
■ IV-4-9. コンテンツの詳細情報	73
■ IV-4-10. コンテンツの検索・ソート	83
■ IV-4-11. コンテンツの削除	88
■ IV-4-12. 一括処理	89
■ IV-4-13. コンテンツの編集	91
IV-5. 属性管理	100
■ IV-5-1. 属性について	101
■ IV-5-2. 属性の種類	102
■ IV-5-3. 属性の追加	103
■ IV-5-4. 属性の編集	106
■ IV-5-5. 属性の削除	109
■ IV-5-6. 属性表示色の編集	110
■ IV-5-7. 属性検索の設定	112
IV-6. コンテンツの視聴	115
■ IV-6-1. 標準プレイヤー	115
■ IV-6-2. プレイリスト	118
■ IV-6-3. ギャラリー	122
■ IV-6-4. マルチビデオプレイヤー	124
■ IV-6-5. 公開期間外のコンテンツ	125
IV-7. システム	126
■ IV-7-1. 状態	126
■ IV-7-2. 設定	128
■ IV-7-3. 操作履歴	132

■ IV-7-4. イベントログ	133
■ IV-7-5. LTO(オプション)	133
■ IV-7-6. プリセット管理	135
IV-8. LTO へのアーカイブ(オプション)	139
■ IV-8-1. 期間から書き出すコンテンツを抽出する	139
■ IV-8-2. LTO テープへコンテンツを書き出す	141
■ IV-8-3. LTO テープからコンテンツを読み出す	143
V. Appendix	145
V-1. 動作確認済みネットワークカメラ	146

I. はじめに

この章では、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーのご使用前に確認していただきたい事項や、 ご注意いただきたい事項について説明します。

I-1. 本製品を使用される際の注意事項

■ 問い合わせ先

ここでは、本製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、メディアエッジ株式会社 カスタマーサポートまでお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社

カスタマーサポート

TEL: 078-265-1552 FAX: 078-265-1550

(月曜~金曜 10:00~12:00、13:00~17:00 ※土日祝および当社指定休日を除く)

■ 当社ホームページについて

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーを始めとする当社の最新情報をホームページ (http://www.mediaedge.co.jp) にて発信しています。

最新のドライバー、ユーティリティ、製品マニュアル、FAQ などを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただきご活用ください。

■ 注意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、 または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとし ます。製品本来の使用目的及び、当社が推奨する使用環境以外での本製品の動作保証は、一切い たしかねます。

■ 個人情報の取り扱いについて

当社では、お客様の個人情報は原則として下記の目的以外では使用いたしません。

- ご利用の当社製品のサポートの実施
 - 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施。
 - ※調査結果につきましては、お客様の個人情報を含まない形で当社のビジネスパートナーに 参考資料として提供することがあります。
- 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認。
- サンフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供。
- 懸賞企画等で当選されたお客様への賞品の発送。

事前にお客様のご了承を得た上で、上記以外の目的で使用させていただく場合があります。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはございません。

お客様の個人情報の取扱いに関するお問い合わせ、ご意見は http://www.mediaedge.co.jpまでご連絡ください。

■ 商標について

- ① MEDIAEDGE は、メディアエッジ株式会社の登録商標です。
- ② Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- ③ その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

■ 警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニターおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。

こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■著作権について

お客様が著作物に該当するフォントを使用して文書等の映像配信を行う場合は、事前に著作権 者から許諾を受けたライセンスの範囲に基づき、ご使用形態がライセンス条項に抵触しないこと を確認のうえ、本製品をご使用ください。

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画 に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個 人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。

キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

I-2. 留意事項

■ 表記について

- 本書は MEDIAEDGE マルチデバイスサーバー バージョン 4.0.0 での操作方法を説明しています。
- ◆ 本書の説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はコンピュータの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載のない操作については、一般的なコンピュータの操作と同じように行ってください。
- 実際に使用される画面上の表示と説明文中の図および画面写真が異なる場合があります。

画面写真は Windows10 上の Google Chrome ブラウザで開発中の製品を使用しています。

■ ご注意

- ① 本製品の構成や仕様は将来予告なしに変更することがあります。
- ② 本製品は構成について万全を期して開発しておりますが、万一ご不審な点や不備等お気付きの点がございましたら、MEDIAEDGE 株式会社カスタマーサポートまでご連絡ください。
- ③ 運用した結果については、②項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ④ ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随 的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を何ら負わ ないものとします。
- ⑤ 製品本来の使用目的及び、当社が推奨する使用環境以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。
- ⑥ 本製品、ならびに本製品に付属するマニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- ② 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。

■ 利用許諾について

本製品は、搭載するソフトウェアの一部に GNU 一般公衆利用許諾 (GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ)または GNU 劣等一般公衆利用許諾 (GNU Lesser General Public License、以下「LGPL」と呼ぶ)に該当するフリーソフトウェアを利用しています。

GPL/LGPL 該当のソフトウェアのリスト、ソースコードの請求、および本件に関する質問は当社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

II. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーについて

この章では、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの概要について説明します。

II-1. 機能の概要

■ II-1-1. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの機能概要

本製品は WEB ベースのアプリケーションで構成されています。 WEB ブラウザで管理画面を表示し下記機能の操作が可能です。

- ユーザーアカウント情報によるログイン機能
- ユーザー管理(登録、編集、削除)
- 映像ファイルのアップロード・登録/削除
- 登録した映像ファイルの検索
- 登録した映像ファイルの視聴(VOD)
- 登録した映像ファイルの視聴・ダウンロード・削除などの各種操作の権限管理※1
- 登録した映像ファイルからの切り出し
- エンコーダからのライブ映像を中継して視聴※2
- ライブ映像の手動録画、スケジュール録画※2
- 登録した映像ファイルを LTO テープへ書き出すアーカイブ機能※3
- 登録した映像ファイルのサイズやビットレートを変換するトランスコード機能
 - ※1. 各ユーザーには異なる権限を与えることができ、コンテンツ視聴しかできないユーザーや全ての機能に アクセスできるユーザーも作ることができます。
 - そのためログインユーザーによってアクセスできる機能は異なります。
 - ※2. ライブ映像配信・録画はオプションです。
 - ※3. LTO アーカイブ機能はオプションです。

■ II-1-2. 対応する WEB ブラウザ

本製品の操作・映像の視聴には以下の WEB ブラウザの使用をお勧めします。

- Microsoft Internet Explorer 11 以降 ※1 ※2
- Microsoft Edge
- Google Chrome 41.0 以降
- Safari (iOS) 5.0 以降
 - ※1. Adobe Flash Player の最新版がインストールされていること
 - ※2. 互換表示モードは OFF となっていること

III. クイックスタート

この章では、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの初期設定を行い、VOD・ライブ配信を行うための最小限の手順を説明します。配信に関する個々の操作について詳しく知りたい場合は、各機能の説明ページをお読みください。

ここでは、基本操作の理解と動作の確認を行うため、配信サーバー上で使用するアカウントは admin(管理ユーザー)のみを使用します。本番の運用では適切な権限のユーザーを作成してご 利用ください。

また、使用するネットワークインターフェースも配信用の1系統のみです。本番の環境では異なる構成の場合もありますが、その場合も同じように扱えますので適宜設定および読み替えてください。

IPアドレスの割り当てやホスト名などシステムの基本的な設定は出荷時点で行ってありますが、必要に応じて変更・調整してください。設定内容に関しては接続するネットワークの管理者にお問い合わせください。

システムのセキュリティに関しても同様に出荷時点で基本的な設定は行ってありますが、運用 形態によっては適切に変更・調整する必要があります。

注意事項にもある通り、これらの設定が不適切だった場合の運用結果については、当社はその 責任を負わないものと致しますのでご了承ください。

III-1. システムの初期設定

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーを初期設定するには、以下のものを用意してください。

- 電源
- モニター

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーにモニター・キーボード(同梱)・マウス(同梱)を接続して、 サーバー本体の電源を入れます。



起動して、次の画面になったら、キーボードから CTRL+ALT+DEL を押してサインイン 画面を出します。

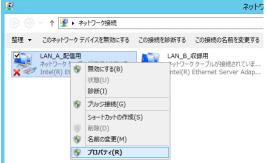


最初のログインは、パスワードに Mediaedge4 を指定してサインインします。

操作説明書



ログインしたら、スタートボタンを右クリックでメニューを出して、[ネットワーク接続(W)] を選択します。

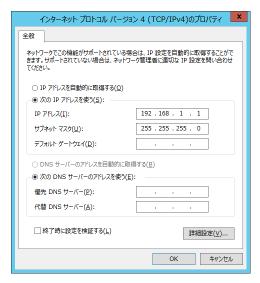


「ネットワーク接続」が開いたら、[LAN_A_配信] を右クリックします。

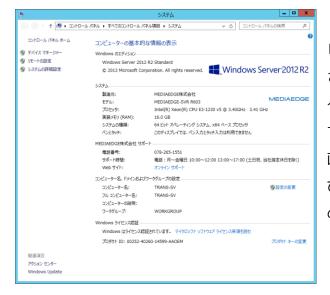
メニューが表示されたら、[プロパティ(\underline{R})] を選択します。



プロパティ画面の [ネットワーク] タブで [この接続は次の項目を使用します(O):] の中の [インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]を 選んで、[プロパティ(R)] ボタンを押します。



[全般] タブでこのネットワークインターフェースの IP アドレス(および DNS サーバー・ゲートウェイのアドレス)を設定してください。標準構成では、出荷時の状態でこのネットワークインターフェースに 192.168.1.1の IP アドレスが設定されています。設定する IP アドレスの値については、接続するネットワークの管理者に確認してください。



このサーバーは標準構成では、出荷時のコンピュータ名として"MEDIAEDGE-SVR"が設定されています。この名前を変更する場合は[スタート]をマウス右クリックでメニューを出して[システム(Y)]を選択します。[システム]画面が出たら[コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定]の右側にある[設定の変更]をクリックします。

[システムのプロパティ] が表示されたら、 [コンピュータ名] タブの中にある [変更(C)…]

ボタンを押します。コンピュータ名および所属するグループの設定は、接続するネットワークの 管理者に確認してください。この設定を変更した場合はサーバーの再起動が必要なので、システ ムの指示に従って再起動を行ってください。

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーにネットワークケーブルを接続していない場合は、この時点で接続してください。接続する端子は、筐体背面に表示されています。

以上で、システムの初期設定は完了です。

III-2. WEB アプリケーションにログインする

配信の操作は、WEBアプリケーションから行います。

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーで配信の操作を行うには、以下のものを用意してください。

● 配信管理用コンピュータ

本製品で対応する WEB ブラウザが動作すれば、OS やハードウェアは問いません。ネット ワークを経由して MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーに接続できる必要があります。

WEB アプリケーションへのログインは、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーに接続できるネットワークで WEB ブラウザから IP アドレス(http://xxx.xxx.xxx.xxx/)またはホスト名 (http://www.mediaedge-svr.mmds.local/など)でアクセスします。ホスト名でアクセスする場合は名前解決ができる必要がありますので、不明な場合はネットワーク管理者にご確認ください。

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーに接続すると、ログイン画面が表示されるのでユーザー 名 admin /パスワード Mediaedge4 (初期設定時)でログインしてください。

III-3. VOD 配信を行う

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーで VOD 配信を行います。 以下のものを用意してください。

● MP4 ファイル

解像度は任意、圧縮は H.264+AAC のもの

(詳細は、■ IV-4-6 VOD コンテンツの登録 を参照ください)

メニューバーから [コンテンツ] を選んで、メニューから [アップロード] を選択してください。



ここで、[+追加] ボタンを押すとファイル選択ウィンドウが開くので、準備した MP4 ファイルを指定します。

すると、ファイルがアップロードされてプログレスバーが右端まで進んで 100%になったのち、 しばらくすると 【**〈**完了】 ボタンが表示されます。 これでコンテンツが登録できました。

登録されたコンテンツは、サーバーにアクセスしたブラウザでログインしたのち、[ホーム] ページに表示されるので、そこから再生することができます。



※システム設定([■ IV-7-2 設定]) により [全てのコンテンツ] が [ホーム] ページに表示されない場合があります。

III-4. ライブ配信を行う

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーでライブ配信を行います。 以下のものを用意してください。

● ネットワークカメラまたはエンコーダ (RTSP/RTP または RTMP 配信に対応した機器)

ライブ配信を行う方法は、配信元の機器のタイプによって2つに分かれます。

機器の種類(RTSP/RTP・RTMP)により次ページ以降のいずれかの手順で登録ののち、[ホーム] ページのコンテンツ一覧から再生することができます。



■ III-4-1. ネットワークカメラまたは MEDIAEDGE LEB Pro2 などの RTSP 対応機器の場合

メニューバーの [コンテンツ] ⇒ [ライブ一覧] のリンクからライブ登録ページに移動します。



[+ネットワークカメラ中継] ボタンを押します。



タイトルには適当な名前を指定します。

[ソース URL] にカメラまたはエンコーダ内の RTSP サーバーの URL を指定します。

ユーザー名とパスワードに機器のユーザー名・パスワードを指定します。

(指定する内容は機器の取扱説明書などをご確認ください)

RTP 転送モードは機器に合わせて設定ください(不明な場合は UDP を指定してください)。

■ III-4-2. MEDIAEDGE-CLEB などの RTMP 対応機器の場合

メニューバーの [コンテンツ] ⇒ [ライブ一覧] のリンクからライブ登録ページに移動します。



[+RTMPライブ] ボタンを押します。



タイトルには適当な名前を指定します。

ストリーム名は適当な名前を指定します(サーバー内で固有な名前を指定する必要があります)。 配信する機器で指定がある場合はその値を設定してください。

パブリッシュ URL が表示されるので、内容を確認してください。

次に配信機器側で、先の手順で表示されたパブリッシュ URL を配信先の URL に設定してください。以下は、MEDIAEDGE-CLEB での設定例です。



機器によっては配信先 URL とストリーム名で指定する場合もあるので、その場合はパブリッシュ URL からストリーム名を除いたものを指定するなど、適宜調整してください。

IV. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの機能について

この章では、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの機能について説明します。

IV-1. ログイン

WEB ブラウザからサーバーの IP アドレスまたはホスト名にアクセスすると次のようにログインページが表示されます。



■ [ログイン] ページ

初期状態では、<u>admin</u>というユーザーのみが存在しており、パスワードは <u>Mediaege4</u>となっています。この admin ユーザーはシステムの全権限を有するスーパーユーザーで、このユーザーを削除することはできません。管理者は、まずこのユーザーのパスワードを初期値から変更することを推奨します。

※ログイン状態は5時間継続され、その時間を経過して操作した場合は再びログイン画面に戻ります。

■ IV-1-1. パスワード入力を連続して間違えた場合

パスワード入力を 10 回連続で間違えた場合は、10 秒間そのアカウントはロックされ、正しいパスワードを入力したとしてもログインできなくなります。

■ IV-1-2. 初期パスワードの変更

初めてログインしたユーザーは、まずパスワードを変更することを推奨します。



admin ユーザーでログインするとこのような画面が表示されます。



ここで、右上の [admin] と表示されたリンクをクリックするとメニューが開きます。その中の [個人設定] を選択することでパスワードを変更できます。



パスワードの変更では、まず現在のパスワードを入力します。

次に、新しいパスワードを入力します。

さらに、もう一度新しいパスワードを入力します。

※パスワードは3文字以上である必要があります。

以上で、パスワードの変更が完了します。

■ IV-1-3. ログアウト



ログアウトする場合は右上のユーザー名が表示されたリンク から [ログアウト] を選択します。

■ [アカウント管理]メニュー

■ IV-1-4. パスワードを忘れてしまった場合

管理権限を持ったユーザーであれば他のユーザーのパスワードを設定し直すことができます。パスワードを忘れてしまった場合は管理者に連絡して再設定してもらうことになります。パスワードリセットについての詳細は「■ IV-3-2 ユーザーの編集」の章で説明します。

admin ユーザーのパスワードはリセットする手段が無いため紛失しないようご注意ください。

IV-2. ページ構成

本システムのページ一覧とそれぞれのページの概要を説明します。

各ページの移動は上部のメニューバーから行えます。



■ [ホーム] メニュー



■ [ユーザー] メニュー



■ [コンテンツ] メニュー

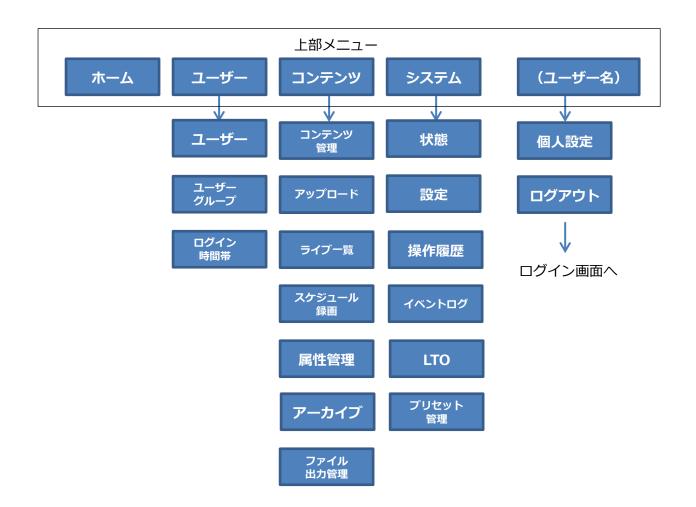


■ [システム] メニュー



■ [アカウント管理] メニュー

メニューの構成は次のようになっています。ユーザーに設定された権限によってメニューに表示されるリンクは異なります。admin ユーザーのように全権限を持っていれば下記の全ページにアクセスすることができます。また、オプション機能に関するリンクは構成によっては表示されません。



操作説明書

各メニュー項目の概要は次の通りです。

メニューバー項目	サブメニュー項目	設定項目の内容
ホーム		コンテンツの視聴を行うためのページです。コンテンツに
	(なし)	は視聴制限を行うことができるため、ログインユーザーに
		よって視聴できるコンテンツは異なります。
	ユーザー	ユーザーアカウントの一覧確認/追加/編集/削除を行うペ
		ージです。
		アクセスには管理者権限が必要です。
	ユーザーグルー	ユーザーグループの一覧確認/追加/編集/削除を行うペー
ユーザー		ジです。
		アクセスには管理者権限が必要です。
		ユーザー、ユーザーグループに所属するユーザーに対して
	ログイン時間帯	ログイン可能な時間帯を指定することができます。
		アクセスには管理者権限が必要です。
		登録されたコンテンツの一覧/詳細情報/プレビュー/編集/
	コンテンツ管理	削除を行うページです。
		アクセスにはコンテンツ管理権限が必要です。
	アップロード	VOD コンテンツのアップロード・登録を行うページです。
		アクセスにはコンテンツ管理権限が必要です。
		ライブコンテンツの登録、管理を行うページです。
	ライブ一覧	アクセスにはコンテンツ管理権限が必要です。
		※ライブオプションが有効である場合に表示されます。
	スケジュール	ライブコンテンツのスケジュール録画を行うページです。
コンテンツ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	アクセスにはコンテンツ管理権限が必要です。
	业水画	※ライブオプションが有効である場合に表示されます。
	 属性管理	属性情報の管理を行うページです。
	周江日生	アクセスにはコンテンツ管理権限が必要です。
	アーカイブ	サーバーに登録されたコンテンツを LTO に書き出す (アー
		カイブ)ページです。
		アクセスには管理者権限が必要です。
		※アーカイブオプションが有効である場合に表示されます。
	ファイル出力	ファイル出力の管理を行うページです。
	管理	アクセスにはコンテンツ管理権限が必要です。

	状態	サーバーの各種状態の表示や動作口グの取得を行うこと
システム		ができます。
	設定	視聴権限設定の有無、編集権限設定の有無、埋め込みコー
		ドホスト名、「ホーム」ページで全てのコンテンツカテゴ
		リの表示の有無、LTO サーバーの IP アドレスとパスワー
		ドなどを設定します。
	操作履歴	操作履歴の一覧を表示します。期間やユーザーを指定して
		絞込み検索することも可能です。
	イベントログ	システムのイベントログの一覧を表示します。期間を指定
		して絞り込み検索することも可能です。
	LTO	LTOテープの取り出しやフォーマットなどの制御と過去に
		使用したテープの記録が閲覧できます。
		※アーカイブオプションが有効である場合に表示されます。
	プリセット管理	ファイル出力用プリセットを管理します。
(コ + 女)	個人設定	ログイン中のユーザーのパスワードを変更するページで
(ユーザー名)		す 。
アカウント管理 	ログアウト	ログアウトを行いログインページに戻ります。

IV-3. ユーザー管理

ユーザー管理はユーザーの登録・設定変更・削除を行うことができます。 これらの操作を行うには管理者権限が必要です。

ユーザーの権限は、そのユーザーが所属するグループから引き継がれます。ユーザーは複数の グループに所属することもできます。グループに所属しないユーザーには権限が割り当てられま せん。

■ IV-3-1. ユーザーの追加

メニューバーの [ユーザー] ⇒ [ユーザー] のリンクからユーザー管理のページに移動することができます。



■ [ユーザー] ページ

ユーザー管理のページで、ページ上部の[+追加]ボタンからユーザーを追加できます。



■ [ユーザーの追加]画面

入力項目	条件
ユーザー名	127 文字以内で他のユーザーと重複しない名前を指定します。使用可能
	な文字は e-mail アドレスに使えるものです。正規表現で表すと、 /^[a-zA-Z0-9@¥.!#¥\$%&¥'*¥+¥/=¥?¥^_`¥{¥ ¥}~¥-]+\$/ となります。
パスワード	3 文字以上で指定します。複雑性の制限はありません。
確認入力	先に入力したパスワードに間違いがないか確認する為、同じパスワード
	を再入力します。
表示名	63 文字以内で指定します(半角・全角は問いません)。
有効	チェックを外すとそのユーザーはアクセスできません。
ホーム画面	[ホーム] ページで表示される視聴画面の種類を選択できます。
	※ [IV-6. コンテンツの視聴] を参照してください
グループ	所属するグループを選択します。複数選択可能です。
	グループの選択は必須ではありませんが、選択しない場合は権限が設定
	されないため、何もできないユーザーとなります。

■ IV-3-2. ユーザーの編集

メニューバーの [ユーザー] ⇒ [ユーザー] のリンクからユーザー管理のページに移動し、リストの右側にある [編集] ボタンからユーザー情報の編集を行うことができます。



■ [ユーザーの編集]画面

入力項目	条件
ユーザー名	変更できません。
表示名	63 文字以内で指定します(半角・全角は問いません)。
有効	チェックを外すとそのユーザーはアクセスできません。
ホーム画面	[ホーム] ページで表示される視聴画面の種類を選択できます。
	※ [IV-6. コンテンツの視聴] を参照してください
グループ	所属するグループを選択します。複数選択可能です。
	グループの選択は必須ではありませんが、選択しない場合は何もできな
	いユーザーとなります。

IV-3-2-1. パスワードのリセット



■ [パスワードリセット] 項目

パスワードを忘れてしまったユーザーに対して管理者はパスワードを再設定することができます。

[パスワードリセット] 項目を展開することで入力欄が表示されます。新しいパスワードを入 力後、「リセット」ボタンを押すと、新しいパスワードに変更されます。

パスワード文字列の制限はユーザーの追加と同様です。



■ [パスワードリセット] ページ

■ IV-3-3. ユーザーのアドレス制限の編集

ユーザーがログインする端末を制限したい場合、ユーザーのアドレス制限を設定することができます。

メニューバーの [ユーザー] ⇒ [ユーザー] のリンクからユーザー管理のページに移動し、リストの右側にある [編集] ボタンの [▼] をクリックし、ドロップダウンメニューから [アドレス制限の編集] を選択すると、アドレス制限の編集を行うことができます。



■ [アドレス制限]画面

上部の[+追加]ボタンから制限項目を追加できます。

また、登録済のアドレス制限の右端の [※削除] ボタンで制限項目を削除できます。

入力項目	条件
優先度	0-100 の数値、数値が大きい程優先度は高くなります。
	複数の制限が登録されていた場合、優先度の高いものから適用されます。
タイプ	以下の4種類から選択します。
	・無効:このアドレス制限の設定自体を無効にします。
	・許可:指定されたアドレスからのログインを許可します。
	・禁止:指定されたアドレスからのログインを禁止します。
	・自動ログイン:特定のアドレスを持つ機器からアクセスされた際に、決まったユーザーで自動
	的にログインしたい場合に使用します。
アドレス	「タイプ」項目で指定した内容が適用される機器の IP アドレスまたは
	CIDR 表記アドレスを指定します。

■ IV-3-4. ユーザーの削除

メニューバーの [ユーザー] ⇒ [ユーザー] のリンクからユーザー管理のページに移動し、リストの右側にある [削除] ボタンからユーザーを削除できます。



■ [削除確認] 画面

削除時には確認メッセージが表示され、誤操作の場合はこの段階でキャンセルすることができます。

■ IV-3-5. ユーザーグループの追加

メニューバーの [ユーザー] ⇒ [ユーザーグループ] のリンクからユーザーグループ管理のページに移動することができます。



■ [ユーザーグループ] ページ

グループの追加は、ページ上部の[+追加]ボタンを押すことで行います。



- [ユーザーグループの追加] 画面
- ユーザーグループの追加で設定する項目

入力項目	条件		
グループ名	127 文字以内で指定します。使用する文字の制限はありません。ほか		
	のグループ名と同じものは使用できません。		
説明	127 文字以内で指定できます(半角・全角は問いません)		
ロール	標準構成では既定のロール(役割)4種類からいずれかを選択します。		
	製品によってはこれ以外のロール(役割)が出荷前に追加され存在す		
	ることもあります。		
	 administrator temporary admin contents owner viewer priority viewer 		
	※ロールにはそれぞれ機能が設定されており、グループに所属するユーザーの機能はグループのロールから引き継がれます。		

操作説明書

■ 各ロール(役割)の所持機能

役割名	所持機能	説明
administrator	AdministrativePrivilege	全ての機能を所持する
	DownloadPrivilege	
	SystemManagement	
	SystemMonitoring	
	LtoManagement	
	UserGroupManagement	
	UserManagement	
	ContentManagement	
	ContentArchive	
	View	
	PriorityView	
temporary admin	AdministrativePrivilege	ユーザーグループ管理機能を除いた全
	DownloadPrivilege	ての機能を所持する
	SystemManagement	
	SystemMonitoring	
	LtoManagement	
	UserManagement	
	ContentManagement	
	ContentArchive	
	View	
contents owner	ContentManagement	コンテンツ管理と視聴のみができる
	View	
viewer	View	視聴のみができる
priority viewer	View	視聴のみができる ※
	PriorityView	

■ 機能の種類

機能名	説明
AdministrativePrivilege	視聴許可設定の有無に関わらず全てのコンテンツにアクセスできる
	機能
DownloadPrivilege	全てのコンテンツがダウンロードできる機能
SystemManagement	[システム] カテゴリのページにアクセスする機能
SystemMonitoring	[システム] ⇒ [状態] ページにアクセスする機能
LtoManagement	[システム] ⇒ [LTO] ページにアクセスする機能
UserGroupManagement	[ユーザーグループ] ページにアクセスする機能
UserManagement	[ユーザー] ページにアクセスする機能
ContentManagement	[コンテンツ] カテゴリのページにアクセスする機能
ContentArchive	[コンテンツ]⇒[アーカイブ]ページにアクセスする機能
View	[ホーム] ページ(視聴画面)にアクセスする機能
PriorityView	[ホーム]ページ(視聴画面)にアクセスする機能 ※

[※]PriorityView 機能を持つ場合、同時視聴者数制限が有効にされている状態で、同時視聴者数が上限に達している場合でも優先して視聴を開始することができます。

■ IV-3-6. ユーザーグループの編集

メニューバーの [ユーザー] ⇒ [ユーザーグループ] のリンクからユーザーグループ管理のページに移動し、リストの右側ある [編集] ボタンからユーザーグループ情報の編集を行うことができます。



■ [ユーザーグループの編集]画面

■ ユーザーグループの編集の設定項目

入力項目	条件		
グループ名	変更できません。		
説明	127 文字以内で指定できます(半角・全角は問いません)		
ロール	標準構成では既定のロール(役割)5種類からいずれかを選択します。		
	製品によってはこれ以外のロール(役割)が出荷前に追加され存在す		
	ることもあります。		
	1. administrator		
	2. temporary admin		
	3. contents owner		
	4. viewer		
	5. priority viewer		
	※ロールにはそれぞれ機能が設定されており、グループに所属するユーザーの機能はグループのロールから引き継がれます。		

■ IV-3-7. ユーザーグループのアドレス制限の編集

メニューバーの [ユーザー] ⇒ [ユーザーグループ] のリンクからユーザーグループ管理のページに移動し、リストの右側にある [編集] ボタンの [▼] をクリックし、ドロップダウンメニューから [アドレス制限の編集] を選択すると、アドレス制限の編集を行うことができます。



■ [アドレス制限]画面

上部の[+追加]ボタンから制限を追加できます。また、登録済のアドレス制限の右端の[×削除]ボタンで削除できます。

■アドレス制限の設定項目

入力項目	条件
優先度	0-100 の数値、数値が大きい程優先度は高くなります。
	複数の制限が登録されていた場合、優先度の高いものから適用されます。
タイプ	以下の3種類から選択します。
	・無効:このアドレス制限の設定自体を無効にします。
	・許可:指定されたアドレスからのログインを許可します。
	・禁止:指定されたアドレスからのログインを禁止します。
アドレス	タイプで指定した制限を実行する機器の IP アドレスまたは CIDR 表記ア
	ドレスを指定します。

※ユーザーグループに対するアドレス制限とユーザーに対するアドレス制限の両方が設定されていた場合、ユーザーに対するアドレス制限が優先されます。

■ IV-3-8. LDAP 認証の設定

LDAP 認証の設定を行うと、LDAP サーバーの管理しているユーザー名/パスワードを用いて MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーにログインすることができます。

LDAP 認証の設定手順は、まず [システム] ⇒ [設定] ページから [LDAP 認証の設定] を表示します。

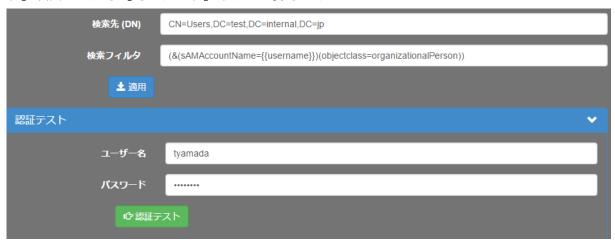


次に、[LDAP 認証の設定] にLDAP URL とユーザー名(DN)・パスワードを入力します。

	LDAP サーバーの URL を指定します。
	schema が Idap の場合、通常はポート番号 389
LDAP URL	schema が Idaps の場合、通常はポート番号 636
	ldaps で自己署名入り証明書が用いられている場合は [未承認の証明書を許可しない] のチ
	ェックを外してください。
	LDAP サーバーとの接続に用いるユーザー名(DN)を指定します。
ユーザー名(DN)	Active Directory の場合、ドメインコントローラー上のコマンドプロンプトで
	>dsquery user を実行するとユーザー名(DN)が一覧表示されます
パスワード	ユーザー名(DN)で指定したユーザーのパスワードを指定します。

[接続テスト] ボタンを押して [成功] と表示されることを確認します。

[検索先(DN)]・[検索フィルタ]を入力した後、[認証テスト]の[ユーザー名]・[パスワード]項目に入力し[認証テスト]ボタンを押します。



このとき、各項目に設定する内容は次の通りです。

検索先(DN)		ユーザー情報が格納されている DN を指定します。			
		Active Directory の場合は[CN=Users,DC=xx,DC=yyy,DC=zzz] のような階層に			
		なります。			
		ユーザー情報の検索フィルタを指定します。			
		入力したユーザー名に対して必ず単独のエントリがヒットするよ			
		うなフィルタを指定する必要があります。			
		{{username}} が入力したユーザー名に置換されます			
		{{username}} とマッチングさせる属性として cn、uid、sAMAccountName、			
検索フィルタ		userPrincipalName などを指定します			
		objectclass として organizationalPerson、inetOrgPerson、posixAccount などを			
		指定します			
		Active Directory の場合は sAMAccountName と organizationalPerson など			
		書式については Search Filter Syntax			
		(https://msdn.microsoft.com/en-us/library/aa746475(v=vs.85).aspx)			
		などをご参照ください。			
	7 4 6	実際に LDAP サーバーに登録されており、上記検索フィルタに-			
認証テスト	ユーザー名	致するユーザー名を指定してください。			
	パスワード	上記ユーザー名に対応するパスワードを指定してください。			

認証に成功すると指定したユーザーの LDAP の属性値が JSON 形式で表示されます。

```
認証テスト
                   ユーザー名
                                   tyamada
                   パスワード
                        心認証テスト
   "dn": "CN=山田 太郎,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=ip",
   "controls": [],
   "objectClass": [
    "top",
    "person",
    "organizationalPerson",
    "user"
   "cn": "山田 太郎",
   "sn": "山田",
   "givenName": "太郎",
   "distinguishedName": "CN=山田 太郎,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",
   "instanceType": "4",
   "whenCreated": "20160721011817.0Z",
   "whenChanged": "20160721014402.0Z",
   "displayName": "山田 太郎",
   "uSNCreated": "12870",
   "uSNChanged": "12880"
   "directReports": "CN=山田 花子,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",
   "name": "山田 太郎",
   "objectGUID": "2�\u000b�TE��i�$k��",
   "userAccountControl": "66048",
   "badPwdCount": "0",
   "codePage": "0",
   "countryCode": "0",
   "badPasswordTime": "131141694846994606",
   "lastLogoff": "0",
   "lastLogon": "131141694859816023",
   "pwdLastSet": "131135374976961829",
   "primaryGroupID": "513",
   "objectSid": "\u0001\u0005\u0000\u0000\u0000\u0000\u0000\u0005\u00015\u0000\u0000\u0000^8\#U\u0016\t^{\ensuremath{\bullet}}\u0007\ensuremath{\bullet}-\ensuremath{\bullet}
  .P\u0004\u0000\u0000",
   "accountExpires": "9223372036854775807",
   "logonCount": "0",
   "sAMAccountName": "tyamada",
   "sAMAccountType": "805306368",
   "userPrincipalName": "tyamada@test.internal.jp",
   "objectCategory": "CN=Person,CN=Schema,CN=Configuration,DC=test,DC=internal,DC=jp",
   "dSCorePropagationData": [
    "20160721011817.0Z",
    "16010101000000.0Z"
   "lastLogonTimestamp": "131135390424447006",
   "msDS-PhoneticFirstName": "タロウ",
   "msDS-PhoneticLastName": "ヤマダ"
   "msDS-PhoneticDisplayName": "ヤマダ タロウ"
```

「適用」をクリックし、設定内容を保存します。

■ IV-3-9. LDAP ユーザーの紐づけの設定

LDAP のユーザーでログインするためには LDAP のユーザーと本システムのユーザーの紐づけ 規則を設定する必要があります。紐づけには LDAP の属性値を用います。 紐づけ規則の設定は、次の手順で行います。

- 1. [ユーザー] ⇒ [ユーザー] からユーザー一覧を開きます。
- 2. 右端の [編集] の [▼] ボタンをクリックし、ドロップダウンメニューから [LDAP ユーザーの紐づけ] をクリックします。



3. LDAP ユーザーの紐づけの規則(Idap-bind オブジェクトの JSON 表現)を入力し [更新] をクリックします。



操作説明書

● Idap-bind オブジェクト

名前	型	デフォルト値	説明
enabled	boolean	true	この紐づけを[有効/無効]にする
binds	条件オブ	[]	LDAP の属性と紐づける条件オブジェクト
	ジェクト		の配列を記述する
	配列		複数記述した場合はすべての条件オブジ
			ェクトを満たすことを条件とする
nameField	文字列 or	["cn","sn",	ユーザー名として用いる LDAP の属性
	文字列配	"uid"]	複数記述した場合は先に書いた方が優先
	列		される
displayNameField	文字列 or	["displayName"]	表示名として用いる LDAP の属性
	文字列配		複数記述した場合は先に書いた方が優先
	列		される
priority	数值	0	複数の本システムのユーザーが条件を満
			たした場合に使用するユーザーの優先順
			位
			値が大きいほうが優先される

● 条件オブジェクト

名前	型	説明
field	文字列	この条件の対象となる LDAP の属性値の名前
		属性が複数の値(配列)を持つ場合はどれか一つでも一致す
		れば条件を満たす
regex	文字列	正規表現によるマッチング
eq	文字列 or 数值	一致
neq	文字列 or 数值	不一致
ieq	文字列	大文字、小文字を区別しない一致
nieq	文字列	大文字、小文字を区別しない不一致
gt	数值	超える より大きい
lt	数值	未満 より小さい
gte	数値	以上
Ite	数値	以下

- 属性値によって別のユーザーに紐づける場合
 - 例えば Active Directory で Administrators グループに所属しているユーザーは下記のような "memberOf" 属性を持っています。

```
"memberOf": [

"CN=Group Policy Creator Owners,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",

"CN=Domain Admins,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",

"CN=Enterprise Admins,CN=Users,DC=test,DC=internal,DC=jp",

"CN=Administrators,CN=Builtin,DC=test,DC=internal,DC=jp"

"INSNChanged": "12840"
```

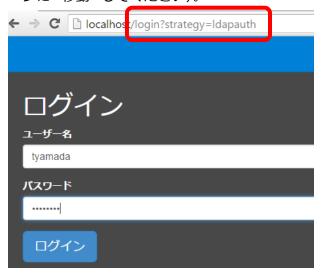
- Idap-bind オブジェクトを編集して Active Directory で Administrators グループに所属するユーザーを本システムの別のユーザーに紐づけることができます。
 - ※"memberOf" を対象とする条件オブジェクトを追加、"priority" を高く設定

```
### Tabled ### True, ###
```

■ IV-3-10. デフォルトの認証方式の変更

LDAP 認証 ⇔ ローカル認証の切り替えは、次の手順で行います。

- LDAP 認証へ変更する場合
 - ログインページの URL の後ろに <u>?strategy=Idapauth</u> をつけます(入力後、そのページに "移動" してください)。



- 2. ユーザー名、パスワードに LDAP のユーザー名、パスワードを指定し [ログイン] を 実行します。
- 3. 下記のようになっているか確認します。
 - ・右上に [nameField] で指定した属性の値が表示されること
 - ・ドロップダウンに [displayNameField] で指定した属性の値が表示されること
 - ・ドロップダウンに [個人設定] が表示されていないこと



- 管理者権限のあるユーザーでログインしなおし [システム] ⇒ [設定] ページに移動 します。
- 5. [設定] ⇒ [認証方式] を「LDAP 認証」に変更し、適用をクリックしてください。



- 認証方式を [LDAP 認証] に変更後、一時的にローカル認証を行いたい場合
- 1. ログインページの URL の後ろに <u>?strategy=local</u> をつけます (入力後、そのページ に "移動" してください)。
- 2. ユーザー名、パスワードに本システムのユーザーのユーザー名、パスワードを指定し [ログイン] を実行します。

※認証方式を LDAP 認証に切り替えた後、ログインができなくなった場合などはこの方法で一時的にローカル認証でログインし、設定を変更することができます。

■ IV-3-11. ログイン時間帯

メニューバーの [ユーザー] ⇒ [ログイン時間帯] のリンクからログイン時間帯管理のページ に移動することができます。

ユーザーグループ、またはユーザー個別にログイン時間帯を指定することで、ユーザーがログインすることができる時間帯を曜日ごとに制限することができます。ユーザーに対して設定したログイン時間帯と、そのユーザーが所属するグループに対して設定したログイン時間帯は両方が同時に適用されます。適用される時間帯が一つも設定されていないユーザーはすべての時間帯でログインが可能です。

ログイン時間帯管理のページで、ページ上部の[+追加]ボタンからログイン時間帯を追加することができます。



■ [ログイン時間帯(ユーザー単位)の追加]画面

※ [グループ単位] タブが選択されている状態で [+追加] をクリックすると、ユーザーグループに対するログイン時間帯が追加できます。[ユーザー単位] タブが選択されている状態で [+追加] をクリックすると、ユーザーに対するログイン時間帯が追加できます。

入力項目	条件
グループ名	ログイン時間帯を追加するユーザーグループの名前もしくはユーザーの
ユーザー名	名前を選択します。
曜日	ログイン時間帯を適用する曜日(または毎日)を選択します。
ログイン時間帯	ログイン時間帯の開始時刻と終了時刻を指定します。
	開始時刻と同じか、より早い時刻を終了時刻として指定した場合、終了
	時刻は日付をまたいだ翌日の時刻となります。

※管理者権限のあるユーザーのログイン時間帯を厳しく制限した場合、システムの管理が困難となる場合があります。

ログイン時間帯管理ページに表示されるログイン時間帯一覧の右側 に表示される[編集] ボタンをクリックすることで既存のログイン時 間帯を変更することができます。



同様に [削除] ボタンをクリックすることで既存のログイン時間帯 を削除することができます。



ログイン時間帯管理のページ上部の[CSV ファイルの書き出し]ボタンをクリックすることで、 既存のログイン時間帯の一覧を CSV ファイルとして出力することができます。また、[CSV ファイルの読み込み] ボタンから CSV ファイルに書かれたログイン時間帯を読み込むことができます。



※ [グループ単位] タブが選択されている状態で [CSV ファイルの書き出し] をクリックすると、ユーザーグループに対する ログイン時間帯の CSV ファイルを書き出します。 [ユーザー単位] タブが選択されている状態で [CSV ファイルの書き出し] をクリックすると、ユーザーに対するログイン時間帯の CSV ファイルを書き出します。

操作説明書

CSV ファイルは下記のような書式となります。

```
userName, dayOfWeek, startTime, endTime admin, -1, 09:00, 20:00 anonymous, 1, 09:00, 18:00 anonymous, 2, 09:00, 18:00 anonymous, 3, 09:00, 17:00 anonymous, 4, 09:00, 18:00 anonymous, 5, 09:00, 18:00
```

先頭行は [userName] [dayOfWeek] [startTime] [endTime] となります。ユーザーグループに対するログイン時間帯の場合は [userName] ではなく [groupName] となります。 二行目以降にログイン時間帯の登録内容を記述します。

[userName] 列にはユーザーの名前を指定します。同一ユーザーに複数のログイン時間帯を記述することができます。同様に [groupName] 列にはユーザーグループの名前を指定します。

[CSV ファイルの読み込み]を行うことで、[userName]列に名前が含まれるユーザーの既存のログイン時間帯は CSV ファイルに含まれる登録内容で上書きされます。一方、[userName]列に名前が含まれないユーザーの既存のログイン時間帯は変更されません。ユーザーグループの場合も同様の動作となります。

[dayOfWeek] 列に書かれる数値は下記の対応する曜日を表します。

-1	0	1	2	3	4	5	6
毎日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日

[startTime] 列、[endTime] 列には 24 時間表記の時間(二桁) と分(二桁) をコロンで区切って指定します。午前零時は「24:00」ではなく「00:00」となります。[startTime] と同じか、より早い時刻の [endTime] を指定した場合、[endTime] は日付をまたいだ翌日の時刻となります。

IV-4. コンテンツ管理

本製品で扱うことのできるコンテンツにはライブコンテンツと VOD(ビデオオンデマンド) コンテンツの 2 種類があります。

※ライブ機能はライブオプションが有効の場合にご利用いただけます。

■ IV-4-1. ライブコンテンツの登録

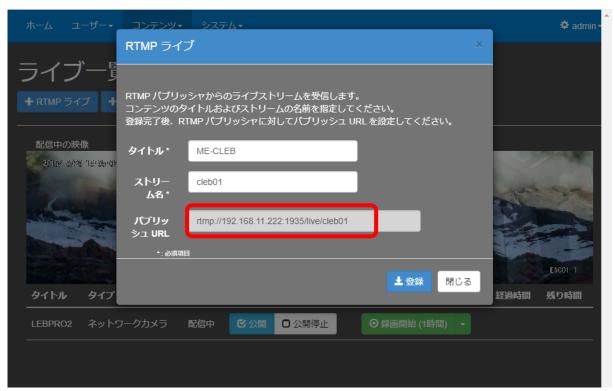
各種エンコーダやネットワークカメラなどのライブ映像を本製品を経由して配信するにはライブコンテンツを登録する必要があります。メニューバーの[コンテンツ] ⇒ [ライブ一覧] のリンクからライブ一覧ページに移動することができます。



■ [ライブ一覧] ページ

操作説明書

MEDIAEDGE-CLEB など、RTMP パブリッシュ機能をもつ機器の映像を配信する場合は[+RTMP ライブ] ボタンより登録を行います。



■ [+RTMP ライブ] ボタンを押した後のライブの登録ページ

タイトルには適当な名前を指定します。

ストリーム名は適当な名前を指定します(サーバー内で固有な名前を指定する必要があります)。 配信する機器で指定がある場合はその値を設定してください。

パブリッシュ URL が表示されるので、内容を確認してください。

次に、MEDIAEDGE-CLEB などの配信機器で、出力(配信)先の URL としてライブの登録画面に表示された [パブリッシュ URL] を記述します。



■ 設定画面の例(MEDIAEDGE-CLEB)

機器によっては配信先 URL とストリーム名で指定する場合もあるので、その場合はパブリッシュ URL からストリーム名を除いたものを指定するなど、適宜調整してください。

操作説明書

ネットワークカメラや MEDIAEDGE LEB Pro2 など、RTSP 配信に対応した機器をライブの配信ソースとする場合は[+ネットワークカメラ中継]ボタンより登録を行います。H.264 圧縮でRTSP プロトコルに対応したネットワークカメラおよびエンコーダ機器が対象となります。



■ [ネットワークカメラ中継] ボタンを押した後のライブの登録ページ

タイトルには適当な名前を指定します。

[ソース URL] にカメラまたはエンコーダ内の RTSP サーバーの URL を指定します。 ユーザー名とパスワードに機器のユーザー名・パスワードを指定します。 RTP 転送モードは機器に合わせて設定ください(不明な場合は UDP を指定してください)。

RTSPの URL は使用するネットワークカメラの機種やメーカーによって異なっています。 次の値は当社で動作検証を行った範囲でのアクセス URL となります。

詳しくはそれぞれのカメラのマニュアルを参照するかメーカーにご確認ください。

■ 主なメーカーのソース URL 記述方法

Panasonic	rtsp:// [IPアドレス] /MediaInput/h264
	または
	rtsp://[IPアドレス]/MediaInput/h264/stream_1
	一部の機種では stream_1~stream_4 を指定する必要がる
SONY	rtsp:// [IPアドレス] /media/video1
	(ほとんどの機種ではは video1~3 が指定可能)
AXIS	rtsp:// [IPアドレス] /axis-media/media.amp
CANON	rtsp:// [IPアドレス] /stream/profile1=r
JVC	rtsp:// [IPアドレス] /ONVIF/Streaming/channels/0_a/unicast
MASPRO	rtsp://[IP アドレス]/[カメラ Web コンソールから設定]
	アクセス先アドレスはネットワークカメラの設定で指定した値になる
D-Link	rtsp:// [IPアドレス] /live1.sdp

[IP アドレス] は、ネットワークカメラに割り振った IP アドレスまたはホスト名を指定してください。

動作確認済みネットワークカメラの機種については Appendix の動作確認済みネットワークカメラをご参照ください。

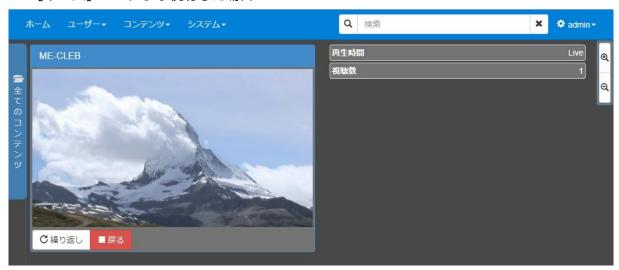
※rtsp://の部分は必ず小文字で記述する必要があります。

※当社にて検証を行った結果であり、上記の値で接続できることを保証するものではありません。

■ IV-4-2. ライブコンテンツの視聴

ライブ映像は[ホーム]ページまたは[コンテンツ管理]ページより視聴することができます。

■ [ホーム] ページより視聴した場合

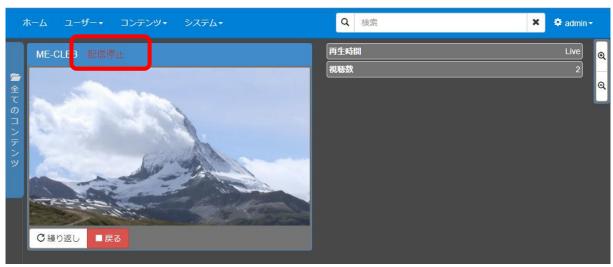


■ [コンテンツ管理] ページから視聴した場合



ネットワークカメラやネットワークエンコーダの電源が入っていない場合、配信を開始していない場合、またはネットワーク経路に問題がありストリームがサーバーまで到達していない場合は下図のように画面中に配信停止の表示が行われます。

■ [ホーム] ページで視聴している時



■ [コンテンツ管理] ページで視聴している時



■ IV-4-3. ライブコンテンツの録画

ライブコンテンツをサーバーで録画する場合は、[コンテンツ管理] ページで操作します。 (ライブ一覧ページから録画を行うことも可能です)

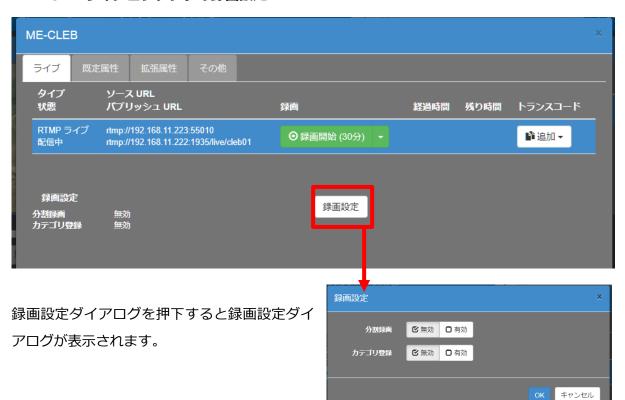


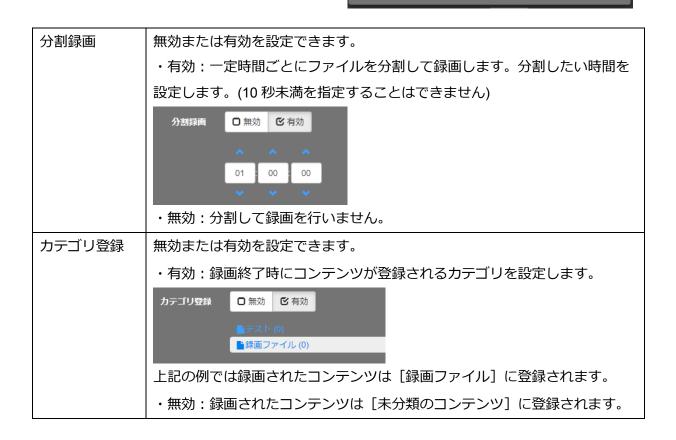
[コンテンツ管理] ページからライブコンテンツを選択し、上部ペインの [詳細] ボタンを押してライブコンテンツの基本情報・詳細情報を表示します。[録画開始(○分)] と表示された緑のボタンが録画開始ボタンです。このボタンを押すか、あるいは右端の[▼]ボタンを押して表示されるドロップダウンをクリックすることで録画が開始され、ボタン表示が下記のように変化します。



[停止] ボタンを押すと録画が終了します。あらかじめ指定した録画時間を超えたときは自動的に録画が終了します。録画時間を延長する場合は[延長(○分)]のボタンを押すか、ドロップダウンメニューから延長する時間を選択することができます。

IV-4-3-1. ライブコンテンツの録画設定





■ IV-4-4. ライブコンテンツをトランスコードして配信・録画(オプション)

トランスコードオプションが設定されているシステムでは配信する映像のサイズやビットレートを変換するトランスコード処理を追加することができます。トランスコードの[追加] ボタンのドロップダウンメニューから [AAC 変換] [512kbps 変換] を選択します。

[AAC 変換] は配信するストリームのうち、映像データはそのままで音声のみ AAC 形式に変換します。ライブコンテンツの入力音声の圧縮形式が AAC でない場合、配信先の機器によっては音声が再生できないことがあります。そのような場合に [AAC 変換] を行うことで音声が再生できるようになることがあります。変換を行うことができる入力音声の圧縮形式は

- G.711(µ-law 及び A-law)
- MPEG-1 Layer 1/2
- MPEG-1 Layer 3(MP3)
- Speex
- Vorbis
- Opus

です。

[512kbps 変換] は配信する映像のビットレートを 512kbps に変換します。

※構成によってはトランスコードの設定に [AAC 変換] [512kbps 変換] 以外のものが追加されている場合があります。 ※RTMPパブリッシュ機能で配信を行っている場合、トランスコードの追加を反映させるためには配信機器側を操作して配信を停止・開始させる必要があります。

■ IV-4-5. スケジュール録画

メニューバーの [コンテンツ] ⇒ [スケジュール録画] ページから、ライブコンテンツの録画 をスケジュールすることができます。指定された日付または毎週の曜日、開始時刻/終了時刻に従ってライブコンテンツを自動的に録画することができます。

IV-4-5-1. スケジュールの追加

[追加] ボタンを押して、スケジュール編集ダイアログを開きます。



ステータス	スケジュールの有効/無効を設定します。
種類	日付指定による録画なのか、毎週の録画なのかを選択します。
日時	日付指定:任意の日付を指定します。
	毎週:曜日を指定します。(複数の曜日を選択できます。)
	開始時刻と終了時刻を設定します。(時分まで)
コンテンツ	ライブコンテンツを選択します。トランスコード処理が追加されてい
	る場合は、トランスコードされた映像を録画することもできます。
設定	録画設定を行います。
	[IV-4-3-1 ライブコンテンツの録画設定] を参照してください。



内容を編集し、OK ボタンを押すと、上記のようにスケジュールが登録されます。

IV-4-5-2. スケジュールの編集

登録されているスケジュール録画一覧で、編集したい項目を選択し、[編集] ボタンを押下します。スケジュール編集ダイアログが開きますので、内容を編集し保存します。

IV-4-5-3. スケジュールの削除

登録されているスケジュール録画一覧で、削除したい項目を選択し、[削除] ボタンを押下します。削除確認ダイアログが開きますので、削除してよければ削除します。

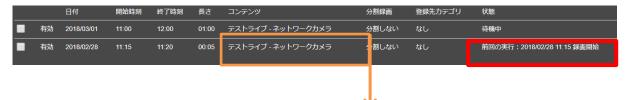
IV-4-5-4. スケジュールの状態確認

各スケジュールの録画状態は一覧上に表示されます。

録画前状態は [待機中] と表示されます。

		日付	開始時刻	終了時刻	長さ	コンテンツ	分割録画	登録先力テゴリ	状態
•	有効	2018/03/01	11:00	12:00	01:00	テストライブ - ネットワークカメラ	分割しない	なし	待機中
•	有効	2018/02/28	11:15	11:20	00:05	テストライブ - ネットワークカメラ	分割しない	なし	待機中

録画が開始されると「録画開始」となります。※エラーが発生した場合はエラー表示となります。



ライブコンテンツ名をクリックする と、ライブの録画状態を表示するこ とができます。

自動的に開始されたスケジュール録 画中に対して、ユーザー操作による 延長や停止を行うことができます。



録画が終了すると [録画終了] となり、①マークが表示されます。

		日付	開始時刻	終了時刻	長さ	コンテンツ	分割録画	登録先力テゴリ	状態
	有効	2018/03/01	11:00	12:00	01:00	テストライブ - ネットワークカメラ	分割しない	なし	待機中
•	有効	2018/02/28	11:15	11:20	00:05	テストライブ - ネットワークカメラ	分割しない	なし	前回の実行:2018/02/28 11:15 録画終了 ❸

[録画終了]の文字部分をクリックすると、該当するスケジュール録画によって追加されたコンテンツが一覧表示されます。

コンテンツ名をクリックすると録画されたコンテンツの内容を確認、編集することができます。

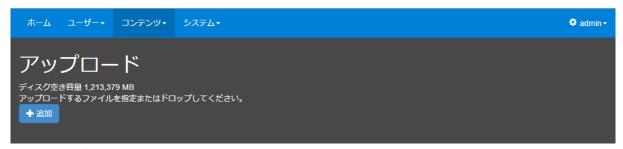


■コンテンツの詳細ダイアログ

■ IV-4-6. VOD コンテンツの登録

VOD コンテンツの登録はアップロードページから行います。

メニューバーの [コンテンツ] ⇒ [アップロード] のリンクから VOD コンテンツの登録ページ に移動します。



■ [アップロード] ページ

ここで [+追加] ボタンを押すとファイル選択ウィンドウが開き、登録したいファイルを選択できます。

ファイルを選択するとアップロードが行われ、VOD コンテンツとして登録されます。

アップロード中に[キャンセル]ボタンを押すとアップロードが中止されます。

アップロードが正常に終了すると[/完了]ボタンが表示されます。

[√完了] ボタンを押すと同じ行のメッセージが消えます。



アップロードを行う際に、複数ファイルを一度に指定することもできます。また、進行中のアップロードが完了する前に追加でアップロードするファイルを指定することもできます。

※アップロード中にページの再読み込みを行うとアップロードが中断されますのでご注意ください。

アップロードが完了したファイルは [コンテンツ管理] ページの [全てのコンテンツ] および [未分類のコンテンツ] カテゴリに登録されています。システム設定 ([■ IV-7-2. 設定]) で [ホーム] ページに [「全てのコンテンツ」カテゴリを表示] するようになっている場合は、この 時点で [ホーム] ページから視聴可能となります。 [「全てのコンテンツ」カテゴリを表示] しな い設定になっている場合は、[コンテンツ管理] ページからアップロードされた VOD コンテンツ に対して [別のカテゴリへの登録] を行うことで視聴可能となります。

次の形式のファイルは、アップロードされた状態からサーバー内でファイル形式の変換を行わず、そのまま VOD コンテンツとして利用可能です。

コンテナ形式	MPEG4 Part14			
	(ISO/IEC 14496-14:2003)			
映像形式	H.264			
	(MPEG4 Part10 ITU-T Rec. H.264			
	ISO/IEC 14496-10 Advanced Video Coding)			
音声形式	AAC-LC			

そうでないファイルは [コンテンツ管理] ページからファイル形式の変換 (トランスコード) を 行う必要があります。

※VOD ファイルのトランスコードは、別オプションが必要となる「ライブのトランスコード」とは別の機能です。

※映像ファイルをアップロードした後、自動的にファイル形式を変換するよう設定することも可能です。(プリセット管理)

■ IV-4-7. コンテンツの詳細

コンテンツの詳細を確認・設定する場合、メニューバーの [コンテンツ] ⇒ [コンテンツ管理] のリンクから [コンテンツ管理] ページに移動します。

図中の[コンテンツリスト]のエリアにコンテンツの一覧が表示されます。admin ユーザーおよび Administrator ロールの権限が付与されたユーザーであれば全てのコンテンツが一覧で確認できます。限定された権限を持つユーザーであれば許可されたコンテンツのみが表示されます。



リストに表示されるコンテンツが 10 件を超える場合は、リスト下部にページ移動のリンクが表示されます。



リストからコンテンツを選択すると図中の [コンテンツの詳細] エリアに詳細情報が表示されます。

■ IV-4-8. コンテンツのカテゴリ

コンテンツは複数のカテゴリに所属させることができます。

アップロード直後のコンテンツは [全てのコンテンツ]、[未分類のコンテンツ] という二つの 定義済みカテゴリに登録されます。

カテゴリは、[ホーム] ページ及び [コンテンツ管理] ページで左端のサイドバーを押すと展開されます。以下は、[コンテンツ管理] ページでの表示例です。



■ サイドバー



■ サイドバー(カテゴリ)展開中

操作説明書

サイドバーはコンテンツ表示エリアをクリックすると折りたたまれますが、右上のピンマーク を押すことでサイドバーを展開した状態のまま固定することもできます。



■ 固定中のサイドバー(カテゴリ)
固定を解除するには、再度ピンマークを押します。

IV-4-8-1. カテゴリの追加

カテゴリを追加するには、[コンテンツ管理] ページのサイドバーで [+追加] ボタンを押して [追加] ウィンドウを表示し、新規カテゴリ名を入力します。



■ カテゴリの追加

サイドバーに表示されているカテゴリリストから、[全てのコンテンツ] または [未分類のコンテンツ] を選択し、[+追加] ボタンを押すと上位カテゴリを持たない最上位のカテゴリを追加できます。[全てのコンテンツ]、[未分類のコンテンツ] 以外のカテゴリを選択し [+追加] ボタンを押すと、[追加] ウィンドウの上位カテゴリ名に選択されているカテゴリ名が表示されます。

MEDIAEDGE

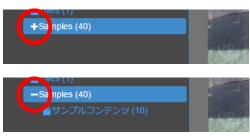
ここで追加される新規カテゴリは、上位カテゴリの下位(子)カテゴリとなります。このようにして、複数のカテゴリを階層化することができます。説明には[ホーム]ページに表示される説明文を入力することができます。また、カテゴリ表示制限を有効とすることで、カテゴリを表示可能なユーザーを制限することができます。

[全てのコンテンツ]、[未分類のコンテンツ] は階層化することはできません。



カテゴリリスト上でカテゴリをドラッグして別のカテゴリにドロップすることで、カテゴリの階層を変更することができます。[全てのコンテンツ]または[未分類のコンテンツ]にドロップした場合は、上位カテゴリを持たない最上位のテゴリになります。カテゴリの移動時は、その下位カテゴリも合わせて移動されます。

■ カテゴリ階層の変更



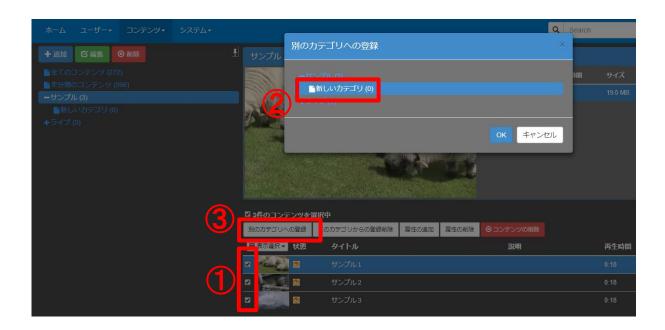
示されている状態で[+]をクリックすると下位カテゴ リが展開され、[+]が[-]に変わります。[-]をク リックすると展開された下位カテゴリが折りたたまれ ます。

下位カテゴリを持つカテゴリの名前の左側に[+]が表

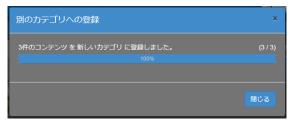
■ カテゴリ階層の開閉

IV-4-8-2. コンテンツのカテゴリへの登録

コンテンツをカテゴリに登録するには、コンテンツリストで登録したいコンテンツのチェック ボックスをチェック(①)した後、[別のカテゴリへの登録]ボタンを押して(②)、[別のカテゴ リへの登録]ウィンドウを表示します。



[別のカテゴリへの登録] ウィンドウで登録先のカテゴリを選択(③) して [OK] ボタンを押すと、登録処理が開始され、その進捗が表示されます。

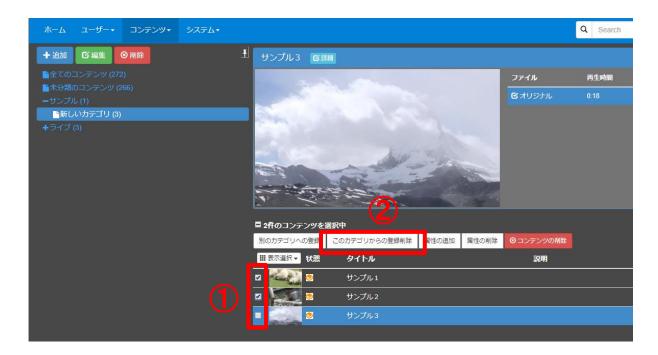


登録処理終了後は、結果を確認し [閉じる] ボタンを押してウィンドウを閉じてください。

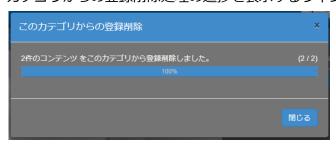
※ [全てのコンテンツ]、[未分類のコンテンツ] に明示的にコンテンツを登録することはできません。

IV-4-8-3. コンテンツのカテゴリからの登録削除

現在選択されているカテゴリからコンテンツの登録を削除するには、コンテンツリストで登録 を削除したいコンテンツのチェックボックスをチェック(①)した後、[このカテゴリからの登録 削除]ボタンを押します(②)。



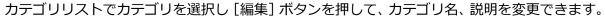
カテゴリからの登録削除処理の進捗を表示するウィンドウが表示されます。

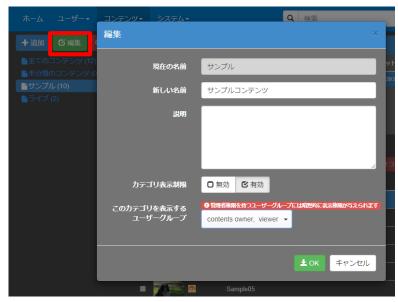


登録削除処理終了後は、結果を確認し [閉じる] ボタンを押してウィンドウを閉じてください。

- ※カテゴリからの登録を削除してもコンテンツ自体は削除されません。
- ※所属するカテゴリのなくなったコンテンツは自動的に[未分類のコンテンツ]カテゴリに登録されます。

IV-4-8-4. カテゴリの編集





また、カテゴリ表示制限を有効とすることで、このカテゴリを表示可能なユーザーを制限することができます。上位カテゴリの表示が制限されているユーザーは、その下位カテゴリも表示することもできません。

※管理者権限を持つユーザーグループには暗黙的に表示権限が与えられます。

IV-4-8-5. カテゴリの削除

カテゴリリストでカテゴリを選択し[削除] ボタンを押した後、[削除確認] ウィンドウで [削除] ボタンを押すと、カテゴリが削除されます。



- ※親カテゴリを削除すると子カテゴリもまとめて削除されます。
- ※カテゴリを削除してもカテゴリに所属していたコンテンツは削除されません。
- ※所属するカテゴリのなくなったコンテンツは自動的に[未分類のコンテンツ]カテゴリに登録されます。

■ IV-4-9. コンテンツの詳細情報

[コンテンツの詳細] エリアはサムネイル、[詳細] ボタン、ファイル一覧から構成されています。[詳細] ボタンを押下すると、コンテンツの詳細ダイアログが表示され、以下の表示・操作が可能です。



表示領域	表示・操作
サムネイル	この領域をクリックするとコンテンツのプレビューを視聴できます。
	再生時に表示される、 「 ボタンをクリックすると、その時点で再
	生されていた映像をサムネイルにすることができます。
ファイル一覧	コンテンツのファイル情報を表示します。
詳細ボタン	コンテンツの詳細をポップアップダイアログで表示します。

IV-4-9-1. コンテンツの詳細ダイアログ

[詳細] ボタンを押下すると、コンテンツの詳細ダイアログが表示され、コンテンツの内容を表示、設定することができます。

詳細ダイアログ左下のボタン操作は各タブで共通です。

保存	編集した内容を保存し、ダイアログを閉じます。
適用	表示しているタブ内で編集した内容を保存します。
元に戻す	表示しているタブ内で編集した内容を破棄して、元に戻します。



IV-4-9-2. ファイル (VOD コンテンツの場合)



ファイル情報を表示します。ファイルのダウンロード、トランスコードの操作が可能です。 ファイルのビデオ/オーディオのコーデック情報を表示します。

VOD コンテンツが LTO にアーカイブされている場合は、アーカイブ情報を表示します。



コンテンツが複数のファイルで構成されている場合、優先度の高いもの がコンテンツの視聴時に再生されます。

優先度は、優先度の数字の上をクリックすることで表示されるスライダーを動かすことでで変更することができます。

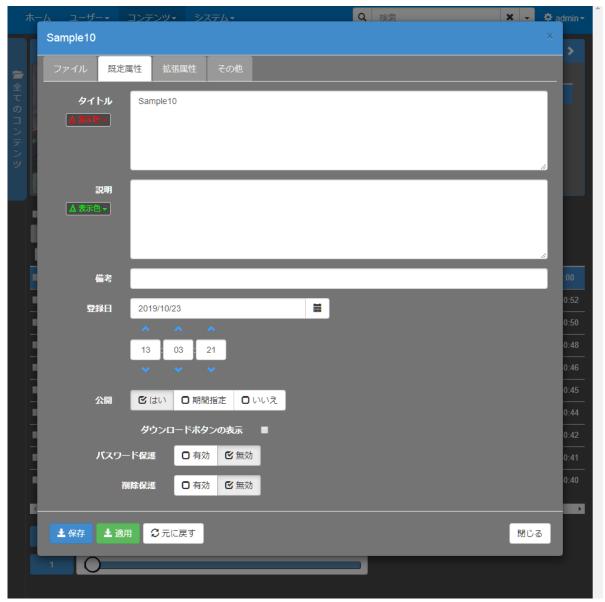
IV-4-9-3. ライブ (ライブコンテンツの場合)



ライブコンテンツの情報を表示します。ライブの録画、トランスコードの操作が可能です。 詳しくは [■ IV-4-3. ライブコンテンツの録画]、 [■ IV-4-4. ライブコンテンツをトラン スコードして配信・録画 (オプション)] を参照してください。

IV-4-9-4. 既定属性

コンテンツのタイトルなどの(既定属性)を設定します。



設定できる項目は以下の通りです。

入力項目	説明
タイトル	255 文字以内。文字制限無し。コンテンツリストに表示されます。
説明	4000 文字以内。文字制限無し。コンテンツリストに表示されます。
備考	127 文字以内。文字制限無し。コンテンツリストに表示されません。
登録日	通常、コンテンツを登録した年月日が自動的に設定されていますが明示的
	に変更することも可能です。

公開	[ホーム] ページでの公開期間を設定します。
	はい/いいえ:公開するかどうかを設定します。
	期間指定:公開する期間を設定します。([年月日][時分秒])
	開始のみが指定されている場合は、その日時以降は公開され続けます。
	終了のみが指定されている場合は、その日時までは公開され続けます。
	両方が指定されている場合は、開始から終了までの間、公開されます。
ダウンロード	[ホーム] ページでのコンテンツのダウンロード可否を設定します。
ボタンの表示	※システム設定で視聴制限設定が無効な場合のみここで設定可能です
パスワード保護	有効にするとコンテンツ視聴時に以下のようなダイアログが表示され、パ
	スワードの入力が必要となります。
	パスワード保護 タイトル ギリシャ パスワード ▶ 再生 キャンセル
削除保護	有効にした場合 [コンテンツの削除] を行うと、以下のメッセージが表示
	され削除できなくなります。無効にすると削除可能となります。
	コンテンツの削除 ×
	1件のコンテンツ を削除できませんでした。 (1 / 1)
	Sample10 は削除保護されています。
	RIC &

タイトル、説明には表示色を指定することができます。指定した表示色は [ホーム] ページのコンテンツリストに反映されます。[コンテンツ管理] ページのコンテンツリストには反映されませんのでご注意ください。また、タイトルと説明は複数行入力することが可能ですが、同様に [ホーム] ページのコンテンツリストにのみ反映されます。

※選択可能な色の一覧は [■ IV-5-6 属性表示色の編集] で変更することができます。

IV-4-9-5. 拡張属性

コンテンツに (既定以外の) 属性値を設定できます。

以下の例では、属性として追加された「分類」項目と「メモ」項目の値を入力・編集しています。



※属性の項目は属性管理から変更することができます。[IV-5 属性管理] を参照してください。

IV-4-9-6. その他

[その他]ではコンテンツに対して様々な操作を行うことができます。



IV-4-9-6-1. 添付ファイル

[添付ファイル] ボタンを押すと、コンテンツに添付ファイルを登録するウィンドウが表示されます。



添付ファイルウィンドウでは、[+追加] ボタンを押しての添付アイルのアップロード、登録済の添付ファイルのタイトル/説明の変更、内容の表示、登録済の添付ファイルの削除が実行できます。 内容の表示: コンテンツの視聴時にファイルの内容が展開されて表示されます。

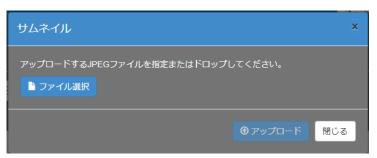
※拡張子が jpg、png のファイルは画像として、txt のファイルはテキストとして、html のものは HTML としてファイルの内容が表示されます。それ以外の拡張子のファイルでは、ファイルの内容の代わりに「説明」が表示されます。

MEDIAEDGE

※拡張子が html のファイルでは、実際に HTML として正しく解釈されるのは一部のタグのみとなります。

IV-4-9-6-2. サムネイル

指定された静止画ファイルをアップロードし、コンテンツのサムネイルとして登録することができます。



[ファイル選択] ボタンを押下し、サムネイルとなる静止画ファイルを指定してください。



内容がプレビューされますので、確認後[アップロード]ボタンを押して登録してください。

※サムネイルには JPEG 形式の静止画ファイルを使用できます。

ライブコンテンツの場合はライブ映像を使ってサムネイルを定期的に自動更新するよう設定する こともできます。



操作説明書

IV-4-9-6-3. 再生ページ URL

該当コンテンツの再生ページ URL を生成・表示します。

IV-4-9-6-4. 埋め込みコード

該当コンテンツの埋め込みタグを生成・表示します。

別の Web ページでコンテンツを再生させたいときに、このボタンを押して表示されるタグをページの HTML に挿入することで、動画を埋め込むことができます。

IV-4-9-6-5. コンテンツの編集

コンテンツ映像のカット編集を行うことができます。詳細は [■ **IV-4-13 コンテンツの編集**] を参照してください。

IV-4-9-7. 視聴制限

システム設定([■ **IV-7-2 設定**]) で視聴制限設定が有効にされている場合、コンテンツ詳細 ダイアログに [視聴制限] タブが表示され、タブを選択するとコンテンツ毎に視聴権限([ホーム] ページにおける権限)を設定できます。

IV-4-9-7-1. グループ単位

[視聴制限] タブで [グループ単位] を選択すると、ユーザーグループ毎に視聴制限を設定することができます。



■ [視聴制限] タブ(グループ単位)

グループ毎に、[表示]、[再生]、[ダウンロード]、[静止画キャプチャ]をチェックする/チェックを外すことで、グループに所属するユーザーの権限([ホーム]ページでのコンテンツの一覧表示可否、再生可否、ダウンロード可否、静止画キャプチャ可否)を各々設定することができます。

- ※ライブコンテンツに対して [ダウンロード]、[静止画キャプチャ] を設定することはできません。
- ※管理者権限を持つグループに対して視聴制限を設定することはできません。

IV-4-9-7-2. ユーザー単位

[視聴制限] タブで [ユーザー単位] を選択すると、ユーザー毎にコンテンツの視聴権限を設定することができます。



■ [視聴制限] タブ(ユーザー単位)

[公開設定] ウィンドウで [ユーザー単位] タブを選択すると、ユーザー毎にコンテンツの視聴権限を設定することができます。

※admin ユーザーに対して視聴制限を設定することはできません。

IV-4-9-8. 編集制限

システム設定([■ **IV-7-2 設定**]) で編集権限設定が有効にされている場合、コンテンツ詳細 ダイアログに [編集制限] タブが表示され、タブを選択するとコンテンツ毎に編集権限([コンテンツ管理] ページにおける権限)を設定できます。



■ [編集権限設定] ウィンドウ

[編集権限設定] ウィンドウで、ユーザーグループ毎にコンテンツの編集権限を設定することができます。

[表示]、[プレビュー]、[ダウンロード]、[削除]、[編集]、[公開の編集]、[編集権限の編集] をチェックする/チェックを外すことで、グループに所属するユーザーの [コンテンツ管理] ページでの対応する操作を許可/禁止することができます。

- ※ライブコンテンツの場合は[録画]権限も設定することができます)。
- ※管理者権限を持つグループに対して編集制限を設定することはできません。

■ IV-4-10. コンテンツの検索・ソート

[ホーム] ページ及び [コンテンツ管理] ページのコンテンツリストで、検索機能を使って表示するコンテンツを絞り込むことができます。さらに、絞り込んだコンテンツを属性値で昇順/降順にソートすることも可能です。

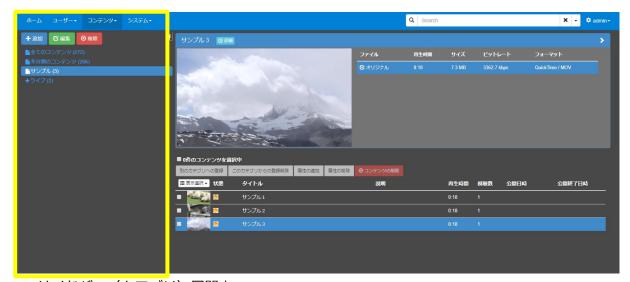
- カテゴリによる検索
- コンテンツの属性による検索
- コンテンツの属性によるソート

IV-4-10-1. カテゴリによる検索

コンテンツをカテゴリに所属させておくとカテゴリリストからカテゴリを選択してコンテンツ リストの内容を絞り込むことができます。以下は[コンテンツ管理]ページの画面ですが、[ホーム]ページでも同様の操作が可能です。



図のようにサイドバーが閉じている場合、サイドバーをクリックするとサイドバーが展開されます。



■ サイドバー(カテゴリ)展開中

サイドバーに表示されているカテゴリリストの中からカテゴリを選択するとコンテンツリストに選択されたカテゴリに所属しているコンテンツのみが表示されます。

[全てのコンテンツ]を選択するとカテゴリによる絞り込みが解除され、システムに登録されている全てのコンテンツが表示されます。カテゴリは階層構造を持つことができますが、表示されるのは選択中のカテゴリ自体に所属するコンテンツのみであり、その下位カテゴリに所属するコンテンツは表示されません。

※システム設定([■ **IV-7-2 設定**]) により [ホーム] ページに [全てのコンテンツ] カテゴリを表示する/しないを切り替えることができます。

※ [未分類のコンテンツ] カテゴリは [ホーム] ページには表示されません。

IV-4-10-2. コンテンツの属性による検索

登録されたコンテンツは既定の属性項目として [タイトル]、[説明]、[登録日]、[再生時間]、 [視聴数]、[公開日時]、[公開終了日時]を持っています。属性項目を追加してコンテンツに関連付けることもできます。これらの属性を条件としてコンテンツを検索することができます。以下は [ホーム] ページの画面ですが、[コンテンツ管理] ページでも同様の操作が可能です。

■ すべての属性項目を対象とした検索



メニューバーの検索窓に検索文字列を入力し [Q] ボタンをクリックすることで全ての属性項目を対象に、入力した文字列に部分一致するコンテンツのみを表示することができます。

■指定した属性のみを検索対象とする

指定した属性のみを検索対象として検索することも可能です。設定は [■ IV-5-7 **属性検索の 設定**] で作成することができ、設定には名前を付けることができます。

メニューバーの検索窓の右側にある [▼] ボタンから、作成した検索設定をつかって検索する ことができます。



操作説明書



■検索条件設定ウィンドウ(例):[タイトル]、[説明]、[登録日]を検索対象にした場合

検索条件として、文字列、期間、事前登録された属性値等を指定し、[OK] ボタンを押すと、ウィンドウが閉じた後、指定された全ての条件を満たすコンテンツのみがコンテンツリストに表示されます。

- ※ [クリア] ボタンを押すと検索条件の入力欄に設定されている値をクリアすることができます。
- ※使用する検索項目の変更方法は [■ IV-5-7 属性検索の設定] を参照してください。
- [▼] ボタン⇒ [全件表示] を選ぶことで絞り込みが解除され元のコンテンツリストが表示されます。
 - ■検索窓と検索ボタンの切り替え

システム設定で [検索表示] を「検索ボタン」とすると以下のような検索ボタン表示に変更できます。



検索	検索条件設定ウィンドウを表示します。ボタンの表示名は [■ IV-5-7 属性検索の設定]
	で変更できます。
全件表示	絞り込みが解除され元のコンテンツリストが表示されます。

IV-4-10-3. コンテンツの属性によるソート

[ホーム] ページ及び [コンテンツ管理] ページのコンテンツリストで、属性値によってコンテンツを昇順/降順でソートすることができます。以下は [ホーム] ページの画面ですが、[コンテンツ管理] ページでも同様の操作が可能です。



■ コンテンツリストでの属性によるソート

ソートしたい属性名をクリックすると、属性名の前に [△] が表示され、コンテンツが属性値の昇順にソートされます。再度クリックすると、今度は属性名の前に [▽] が表示され、属性値の降順にソートされます。もう一度クリックすると、[▽] が消え、ソートを実行する前の順序に戻ります。

※属性名の左にある[表示選択]から、リストに表示する列を選択することができます。

■ IV-4-11. コンテンツの削除

コンテンツの削除は、[コンテンツ管理] ページで行います。



■ コンテンツの一括削除

コンテンツリストの左側にあるチェックボックスで削除するコンテンツを選択し、[コンテンツの削除] ボタンを押すと確認ウィンドウが表示されますので、[削除] ボタンを押してコンテンツの一括削除を開始します。チェックボックスの選択は、リストのページが変わっても解除されないので複数ページにまたがって選択することができます。また、[コンテンツの削除] ボタンを押すと現在表示されていないリストページでチェックされているコンテンツも全て削除されます。

コンテンツの削除中は進捗を表示するウィンドウが表示されます。



■ コンテンツ削除の進捗ウィンドウ

削除完了後は、結果を確認し [閉じる] ボタンを押してウィンドウを閉じてください。

※削除したコンテンツは元に戻すことができませんので慎重に操作してください。

※ [削除保護] されているコンテンツは削除することができません。[削除保護] されているコンテンツを削除したい場合は、 あらかじめ [削除保護] を無効に変更してください。

■ IV-4-12. 一括処理

複数のコンテンツに対して、属性の追加/削除、公開設定、編集権限設定を一括で実行することができます。コンテンツリストで処理対象となるコンテンツのチェックボックスをチェック(①)後、処理に対応するボタンを押して(②)実行します。



IV-4-12-1. 属性の追加

コンテンツリストで属性を追加したいコンテンツのチェックボックスをチェックした後 [属性の追加] ボタンを押すと [属性の追加] ウィンドウが表示されます。追加したい属性を設定し [保存] ボタンを押してください。

※属性の種類が事前登録(複数)の場合は既存の設定内容に値が追加されます。事前登録(単数)及び都度入力の場合は既存の設定内容は上書きされますのでご注意ください。



■ [属性の追加] ウィンドウ

IV-4-12-2. 属性の削除

コンテンツリストで属性を削除したいコンテンツのチェックボックスをチェックした後 [属性の削除] ボタンを押すと [属性の削除] ウィンドウが表示されます。削除したい属性をチェック し「保存] ボタンを押してください。



■ [属性の削除] ウィンドウ

IV-4-12-3. 公開設定

コンテンツリストで公開設定を設定したいコンテンツのチェックボックスをチェックし [公開設定] ボタンを押すと [公開設定] ウィンドウが表示されます。

[公開設定] ウィンドウでの設定項目はコンテンツ個別に設定する場合(■IV-4-9-7 視聴制限を参照ください)と同じです。

※対象となるコンテンツに設定されていた既存の設定内容は上書きされますのでご注意ください。

IV-4-12-4. 編集権限設定

コンテンツリストで編集権限設定を設定したいコンテンツのチェックボックスをチェックした 後、[編集権限設定] ボタンを押すと、[編集権限設定] ウィンドウが表示されます。

[編集権限設定] ウィンドウでの設定項目はコンテンツ個別に設定する場合(■IV-4-9-8 編集制限を参照ください) と同じです。

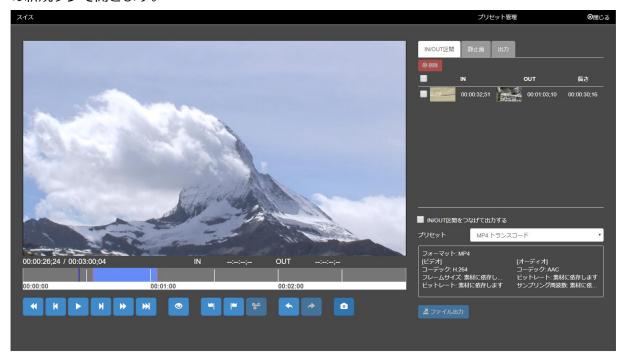
※対象となるコンテンツに設定されていた既存の設定内容は上書きされますのでご注意ください。

■ IV-4-13. コンテンツの編集

登録した映像ファイルの一部を切り出して、サイズやビットレートなどを変換(トランスコード) し、新規コンテンツとして登録することができます。

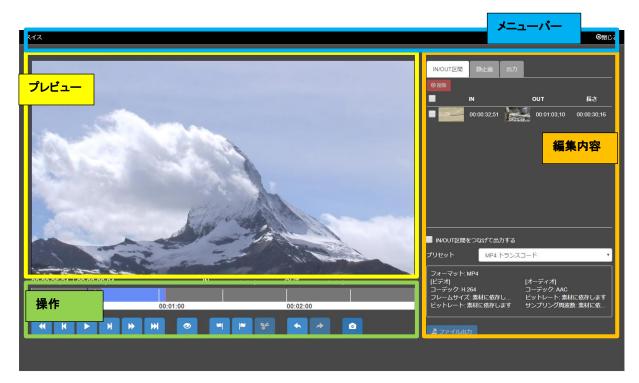
コンテンツを編集するには、メニューバーの [コンテンツ] ⇒ [コンテンツ管理] のリンクから [コンテンツ管理] ページに移動し、コンテンツの詳細ダイアログを表示します。

[その他] タブ内の [コンテンツの編集] ボタンを押すと、[コンテンツの編集] 画面がブラウザの新規タブで開きます。



IV-4-13-1. 画面の構成

[コンテンツの編集] 画面は、プレビュー、操作、編集内容、メニューバーで構成されています。

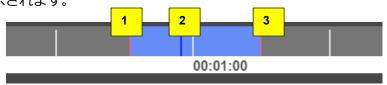


プレビュー	映像がプレビューされます。
操作	タイムラインと操作ボタンから構成されています。
編集内容の表示	IN/OUT 区間、静止画、出力の3つのタブから構成されています。
メニューバー	編集画面を閉じることができます。
	ログイン権限によっては「プリセット管理」が行える場合があります。

IV-4-13-1-1. タイムライン

コンテンツの現在の再生位置と切り出す範囲の IN/OUT 区間が表示されます。

IN 点、OUT 点が設定されると、切り出し範囲が明るい青色で表示され、それ以外の範囲は灰色で表示されます。



1	開始位置
2	タイムラインカーソル(映像の現在の再生位置)
3	終了位置

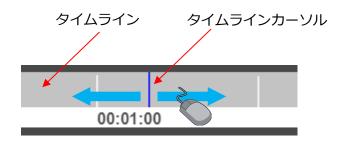
MEDIAEDGE

IV-4-13-1-2. 操作ボタン

ボタン		内容
	再生	映像を再生します。
II	一時停止	映像を一時停止します。
*	 早戻し	少し前の位置に移動します。ボタンを押し続けると、移動し
	-	続けます。
		早送りを行います。1回押下するごとに2、4倍速と
₩	早送り	なります。
		4 倍速のときに再度押下すると 2 倍速になります。
		スロー再生を行います。1回押下するごとに 0.5、0.25 倍
>>	スロー再生	速となります。0.25 倍速のときに再度押下すると 0.5 倍速
		になります。
K		前のフレームに移動します。
	J (%0	ボタンを押し続けると、移動し続けます。
→	コマ送り	次のフレームに移動します。
		ボタンを押し続けると、移動し続けます。
•	プレビュー再生	すべての IN/OUT 区間を先頭から再生します。
~	IN点	現在の再生位置上に IN 点を設定します。
~	OUT点	現在の再生位置上に OUT 点を設定します。
		IN/OUT 区間を現在の再生位置で分割して、2 つの IN/OUT
85	分割	区間を作成します。
•	元に戻す	IN/OUT 点の操作を一つ前の状態に戻します。
•	やり直し	IN/OUT 点の操作をやり直します。
		現在の再生位置の映像を静止画に保存します。
6	静止画保存	保存された静止画は静止画タブの静止画一覧に
		追加されます。

IV-4-13-2. 切り出し操作

IV-4-13-2-1. 映像の頭出し操作



タイムラインにマウスカーソルを重ね、マウスの左ボタンを押しながら左右に動かすとマウスカーソルにタイムラインカーソルが追従し映像の再生位置が進んだり、戻ったりします。 矢印キーを使用することでも操作できます。(IV-4-13-4 ショートカットキー 参照)

IV-4-13-2-2. 切り出し位置操作

映像からの切り出しを行うには以下の1)、2)の操作を行って切り出し範囲を設定します。 切り出し範囲の開始位置を IN 点、終了位置を OUT 点といいます。

1) 開始位置の設定

映像の再生や [■IV-4-13-2-1 映像の頭出し操作]を行って、開始位置を設定したい位置にタイムラインカーソルを移動させ、 IN 点ボタンを押して、IN 点を設定します。 IN 点より左側が暗い灰色に変化します。



2) 終了位置の設定

IN 点を設定した状態で映像の再生や [■IV-4-13-2-1 映像の頭出し操作]を行い、

終了位置を設定したい位置にタイムラインカーソルを移動させ、 OUT 点ボタンを 押して、OUT 点を設定します。

OUT 点より右側が暗い灰色に変化し、青色で表示された切り出し範囲が設定されます。



IV-4-13-2-3. 複数の切り出し範囲の作成

切り出し範囲は複数作成することができます。

映像の再生や [■IV-4-13-2-1 映像の頭出し操作] を行って、開始位置を設定したい位置にタイム ラインカーソルを移動させ、 IN 点ボタンを押して、IN 点を設定します。 IN/OUT 区間が新規に作成されます。



IV-4-13-3. 編集内容の表示

IN/OUT 区間、静止画、出力の3つのタブから構成されています。

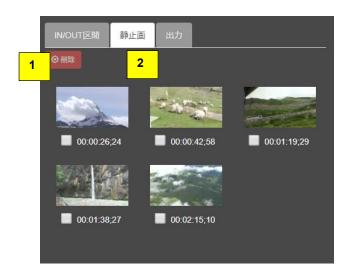
IN/OUT 区間	映像を任意の範囲で切り出すことができます。
	IN/OUT 区間の各サムネイル部分をクリックすると、
	再生位置が IN 点、または OUT 点の位置に移動します。
静止画	静止画一覧を表示します。
出力	ファイル出力の進捗状況を表示します。

IV-4-13-3-1. IN/OUT 区間



1	チェックをつけた IN/OUT 区間を削除します
	IN/OUT 区間の内容が表示されます。
2	サムネイルをクリックすると再生位置がクリックされた IN
	点または OUT 点位置に移動します。
3	複数の IN/OUT 区間をファイル出力する際に、IN/OUT 区間
	をつなげて出力する/しないを選択します。
4	プリセットを選択します。(■ IV-7-6プリセット管理参照)
5	チェックをつけた IN/OUT 区間のファイル出力操作を
	開始します。

IV-4-13-3-2. 静止画



1	チェックをつけた静止画を削除します
2	静止画の一覧を表示します。
	静止画をクリックするとその静止画に紐づいている再生位
	置に移動します。
	切り出し操作の際のマークとしてお使いいただけます。

操作説明書

IV-4-13-3-3. 出力



1	チェックをつけたファイル出力が完了したリストを削除で
	きます。
2	チェックをつけたファイル出力中のリストの出力を中止で
	きます。
3	出力中、出力完了のリストを表示します。

出力が終了すると [終了] となり、①マークが表示されます。

[終了]の文字部分をクリックすると、録画されて追加されたコンテンツが一覧されます。 コンテンツ名をクリックすると出力されたコンテンツの内容を確認、編集することができます。



■コンテンツの詳細ダイアログ

IV-4-13-4. ショートカットキー

ボタン	内容
再生	Space、Enter、K(一時停止時のみ)
一時停止	Space、Enter
早戻し	J
早送り	К
スロー再生	Shift+K
▶ コマ戻し	←
ンコマ送り	\rightarrow
プレビュー再生	Shift+Space、Shift+Enter、Shift+K
IN点	I
OUT点	0
分割	D
元に戻す	Ctrl+Z
→ やり直し	Ctrl+Y
静止画保存	Т
前の編集点へ移動	\uparrow
次の編集点へ移動	↓
映像の先頭へ移動	Shift+Home
映像の終端へ移動	Shift+End

IV-5. 属性管理

コンテンツ管理権限を持つユーザーは、メニューバーの [コンテンツ] ⇒ [属性管理] から表示される属性管理画面で、[ホーム] ページや [コンテンツ管理] ページで使用される属性の管理を行うことができます。

属性管理画面では以下の操作が可能です。

- ●属性の追加
- ●属性の編集

[ホーム] ページや [コンテンツ管理] ページでの表示方法

- ●属性の削除(※既定属性を削除することはできません)
- ●属性検索の設定
- ●属性表示色の編集



■ IV-5-1. 属性について

属性には以下の2種類があります。

●既定の属性:システム組み込みの属性です。削除することはできません。

※表示される名前を変更する、[ホーム] ページに表示されないようにすることは可能です。

タイトル	- 「コンテンツ管理]ページから任意の文字列を設定することができます。
説明	[コンナンフ目柱] ハーンがりは息の文子がで設定することができます。
再生時間	コンテンツの再生時間を表しており、変更することはできません。
視聴数	VOD コンテンツ:そのコンテンツが再生された累計回数
	ライブコンテンツ: そのコンテンツの同時視聴者数をリアルタイムに表示
	します。
	値を入力することはできません。
登録日	コンテンツが登録された日時です。[コンテンツ管理] ページから任意の日
	時に設定し直すことも可能です。
公開日時	公開日時は [コンテンツ管理] ページから任意の期間を指定することでそ
 公開終了日時	のコンテンツが利用できる期間を制限することができます。
	([■IV-4-9-4 既定属性] を参照ください)
添付ファイル	コンテンツに対して添付したファイルを表します。

●カスタム属性:管理者によって追加されるものです。

以下の4種類の型があります。

型名	説明
数值	15 桁まで。小数点以下は 5 桁まで。
文字列	0-63 文字の文字列です(半角・全角は問いません)
日時	日時を指定できます
期間	期間の開始日時と終了日時を指定します

■ IV-5-2. 属性の種類

属性の種類には、以下があります。

●事前登録型:管理者が事前に登録しておいた選択肢から選択するもの。

[単数選択] :選択肢のうち選択できるものは1つ

[複数選択] :選択肢のうち複数を選択可能

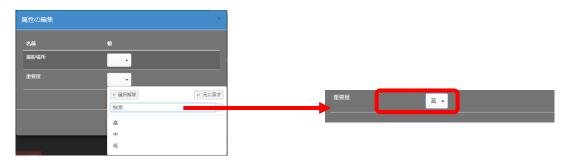
※コンテンツ管理者が選択肢となる値をあらかじめ設定することもできます。

●入力型:[都度入力] コンテンツ管理者がその都度任意の値を入力するもの。

IV-5-2-1. コンテンツ管理での属性の編集の例

[単数選択]

事前に登録されている選択肢から1つを選択できます。選択した項目がコンテンツの属性値として設定されます。



[複数選択]

事前に登録されている選択肢から複数を選択できます。選択した複数の項目がコンテンツの属性 値として設定されます。



[都度入力]

その都度入力します。以下は型名に [日時] を設定した場合の例です。



■ IV-5-3. 属性の追加

属性管理画面の上部にある[+追加]ボタンを押すと次のようなウィンドウが表示され属性を 追加することができます。

属性の追加	3 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	×
名前	新しい名前	
表示名		
型	数値 ▼	
種類	事前登録 (複数選択) ▼	
■ コンテ	ンツの属性の編集時に属性値の編集を許可する	
▼ この属	性をリストの列として表示する	
-	表示順 100 金 表示順の小さいものから左側に表示されます。	
-	表示幅 200 回定 ロリセット 🕑 初期値	
_	● ページを初めて表示するときの表示幅を指定します。 ユーザー操作により幅が変更された後はその値を記憶します。	
- L	■ 右寄せで表示	
	★保存 キャンセル	

■ [属性の追加] ウィンドウ

名前には任意の文字列(31 文字まで)を設定してください。名前はシステム内で一意である必要があります。名前とは別に表示名を指定すると、[ホーム]ページにおける表示を変更することができます。表示名を省略すると名前が表示名となります。

種類が事前登録(複数選択)または事前登録(単数選択)の場合は、[コンテンツの属性の編集時に属性値の編集を許可する] にチェックを入れることで、コンテンツ管理者がコンテンツの属性の値を選択する際にも選択肢を追加することができるようになります。チェックを入れない場合は管理者が事前に登録した選択肢から選ぶのみとなります。

操作説明書

[この属性をリストの列として表示する] にチェックを入れると [ホーム] ページおよび [コンテンツ管理] ページのコンテンツリストに列として属性情報が表示されるようになります。この場合、さらに [表示順]、[表示幅]、[右寄せで表示] を指定することができます。

項目	説明
表示順	値の小さいものから順にコンテンツリストの左側に表示されます。
	※新規作成時は 100 に設定されます。
表示幅	コンテンツリスト内での表示幅を指定します。
	[固定]:常に指定した表示幅で表示します。
	[リセット]:ページを表示するたびに指定した表示幅にリセットします。表示後はユーザー操作により
	幅の変更が可能です。
	[初期値]:ページを初めて表示するときの表示幅を指定します。ユーザー操作により幅が変更された後
	はその値を記憶します。
右寄せで表示	[ホーム] ページに表示する時、右寄せで表示します。
	※[コンテンツ管理]ページには反映されません。

日時型、期間型の属性を作成する場合、「ホーム」ページに表示する時の日付書式を指定することができます。プレビュー欄には指定された書式に現在時刻を当てはめた結果が表示されます。期間型の場合は二つの日時を「 - 」で区切った表示となります。



年(西暦、四桁)
年(西暦、二桁)
年 (西暦)
月 (二桁)
月
月(Jan、Feb···)
月(January、February…)
日 (二桁)
時(24 時間表記、二桁)
時(24 時間表記)
時(12 時間表記、二桁)
時(12時間表記)
分 (二桁)
分
秒 (二桁)
秒
AM / PM
am / pm

■ IV-5-4. 属性の編集

属性管理ページの属性一覧の中から任意の属性の[編集] ボタンを押すとその属性情報を編集 することができます。



■ [属性の編集] ウィンドウ

型と種類は後から変更することができません。これらの設定を誤って追加した場合には一旦属性を削除して再度追加してください。種類が事前登録の属性の場合は属性値の追加・編集・削除も、ここから行うことができます。

IV-5-4-1. 属性値の追加

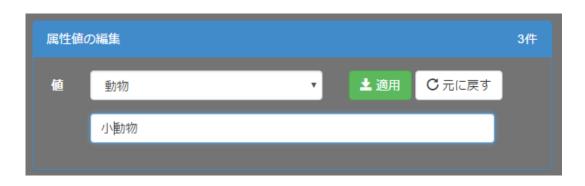
事前登録型の場合、属性値を追加するには[属性値の編集] 欄の値のドロップダウンから[(new value)] を選択した状態にしてください。この状態でその下にある入力欄に値を入力して[追加] ボタンを押すと[値] のドロップダウンの中に新しい値が追加されます。



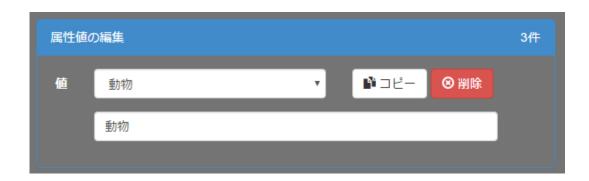
IV-5-4-2. 属性値の編集



既存の属性値の内容を編集するには [属性値の編集] 欄の [値] のドロップダウンから編集対象の値を選択します。その下の入力欄で値を編集すると [適用] というボタンが表示されるのでそれを押すと変更が保存されます。



IV-5-4-3. 属性値の削除



既存の属性値を削除するには [属性値の編集] 欄の [値] のドロップダウンから削除したい値を選択します。ここでその下の入力欄を編集せずに [削除] ボタンを押すと確認メッセージが表示され [削除] ボタンを押すと属性値が削除されます。



■ IV-5-5. 属性の削除

属性を削除するには属性一覧から削除対象の属性の行にある[削除]ボタンを押してください。



確認メッセージが表示され [削除] ボタンを押すと削除されます。

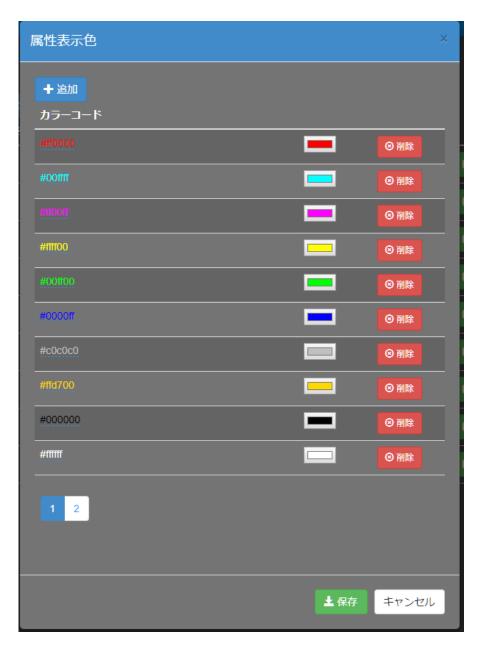


※ (既定) の属性を削除することはできません。

■ IV-5-6. 属性表示色の編集

属性管理ページの上部にある[属性表示色の編集]ボタンを押すと次のようなウィンドウが表示され[ホーム]ページでコンテンツリスト内に表示される属性値の表示色を編集することができます。

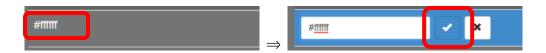
※ログインユーザーの権限によっては表示されない場合があります。



ここで設定された色は [■IV-4-9-4 既定属性] にてコンテンツのタイトル、説明の表示色として使用することができます。

[+追加]をクリックするとリストに一行追加されます。追加直後のカラーコードは常に #fffff となっています。リストに表示されている [カラーコード]をクリックすると入力欄が開き、RGB カラーコードまたは色の名前を入力することができます。

※色の名前を入力した場合、自動的にカラーコードに変換されます。



変更後、[v] をクリックすることで確定します。また [削除] ボタンの左側にあるボタンをクリックすることでカラーパレットから色を選択することができます。



リストの右側にある [削除] ボタンをクリックすることで該当する色を削除することができます。

編集後は「保存」ボタンを押して変更内容を保存してください。

■ IV-5-7. 属性検索の設定

属性管理ページの上部にある [属性検索の設定] ボタンを押すと [ホーム] ページまたは [コンテンツ管理] ページでコンテンツ検索を実行する際に表示される検索設定を作成します。 検索設定を行うと、登録した属性(複数可)を検索対象にして検索することができます。



上図の例では検索条件と名前を設定しています。

名前	検索設定に名前をつけることができます。
	この名前が [ホーム] ページまたは [コンテンツ管理] ページのメニューバー
	の検索窓の右にある [▼] ボタンを押したときにドロップダウンメニューに表
	示されます。
自動表示	[ホーム] ページを開いたときに検索ダイアログを自動で開くかどうかを設定
	します。
入力文字列の	一度検索ダイアログに入力した検索条件文字列を記憶しておくかどうかを設
記憶	定します。

IV-5-7-1. 検索項目の追加

[+検索項目の追加] ボタンを押すと、[検索条件] ウィンドウが表示されます。



■ [検索条件] ウィンドウ

検索項目名	項目の表示名
対象属性	検索対象とする属性
	タイトル、説明、登録日、公開日時、公開終了日時、追加定義したカスタム属
	性、及び「すべての属性」から選択します。
	※「すべての属性」を選択した場合、すべての属性の文字列表現に対する検索となります
検索方法	検索の方法
	[登録値から選択]、[文字列 (部分一致検索)]、[期間指定 (日付のみ)]、[期
	間指定 (日付時刻)]、[期間選択]、[範囲指定 (数値)] から選択します。
	※選択可能な検索方法は対象属性によって異なります

操作説明書

検索方法と指定可能な属性の関係は以下の表の通りです。

■ 属性と指定可能な型(検索条件)

検索方法	検索の動作	指定可能な属性
登録値から選択	選択された属性値と一致する	種類が事前登録(単数選択/複数選択)
		である属性
文字列(部分一	入力された文字列に部分一致する	タイトル、説明
致検索)	文字列属性	文字列型属性
期間指定(日付	指定された期間(日付)に含まれる	登録日、公開日時、公開終了日時
のみ)	日付属性	日時/期間型属性
期間指定(日付	指定された期間(日付及び時刻)に	登録日、公開日時、公開終了日時
時刻)	含まれる日付属性	日時/期間型属性
期間選択	現在時刻から [指定なし/一週間以	登録日、公開日時、公開終了日時
	内/一か月以内/一年以内]の日付属	日時/期間型属性
	性	
指定範囲(数値)	指定された範囲内にある数値属性	数值型属性

Ⅳ-5-7-2. 検索項目の編集と削除

登録済のコンテンツの検索条件の[編集] / [削除] ボタンをおして、検索条件の編集/削除を行うことができます。



また、検索条件をマウスでドラッグ~ドロップすることで、表示順序を変更することができます。

変更が終了したら、[保存] ボタンを押して設定した検索条件を保存してください。

IV-6. コンテンツの視聴

視聴権限を持ったユーザーは通常、ログインすることで [ホーム] ページが表示されます。また、メニューバーの [ホーム] のリンクから [ホーム] ページに移動することができます。 [ホーム] ページには [標準プレイヤー] [プレイリスト] [ギャラリー] [マルチビデオプレイヤー] のうちの一つが表示されます。 どの視聴画面が表示されるかはユーザー毎に設定することができます。

※ [■ IV-3-1 ユーザーの追加] を参照してください。

■ IV-6-1. 標準プレイヤー

標準プレイヤーはコンテンツリストから選択したコンテンツを再生するシンプルな機能を提供します。

IV-6-1-1. コンテンツリストの表示

カテゴリに含まれるコンテンツが一覧表示されます。コンテンツの検索・ソート([■ **IV-4-10 コンテンツの検索・ソート**] を参照ください) と視聴を行うことができます。



操作説明書

リストに表示されるコンテンツが 10 件を超える場合は、リスト下部にページ移動のリンクが表示されます。



IV-6-1-2. コンテンツの視聴

コンテンツを再生させる場合は、リストのサムネイルをクリックします。



動画プレイヤー	選択した動画が再生されます。
コントロール	再生に関する操作を行います。一定時間操作がない場合、コントロ
	ールは非表示となります。
	※コントロールの見た目は条件により変化することがあります
属性値一覧	選択した動画に関連付けられている属性値の一覧が表示されます。
	※タイトルは動画プレイヤー上部に表示されます

操作ボタン	[繰り返し]:ファイルの末尾まで再生したのち、先頭から再生を
	再開します。
	[戻る] : コンテンツリストに戻ります。
	動画プレイヤーのサイズを拡大、縮小します。
	ある程度まで拡大すると属性値一覧が動画プレイヤーの下
	♀ 側に回り込みます

IV-6-1-3. 添付ファイルのダウンロード

属性管理にて添付ファイル列を表示した状態で、そのコンテンツの視聴画面のリスト添付ファイルをダウンロードすることができます。



■ IV-6-2. プレイリスト

プレイリストではコンテンツリストから複数のコンテンツを選択し、連続して再生させることができます。また、コンテンツのダウンロードが許可されている場合、動画ファイルのダウンロードを行うことができます。

IV-6-2-1. コンテンツリストの表示

カテゴリに含まれるコンテンツが一覧表示されます。コンテンツの検索・ソート([**IV-4-10 コンテンツの検索・ソート**]を参照ください)、プレイリストを作成してコンテンツの連続再生を行うことができます。



リストに表示されるコンテンツが 10 件を超える場合は、リスト下部にページ移動のリンクが表示されます。

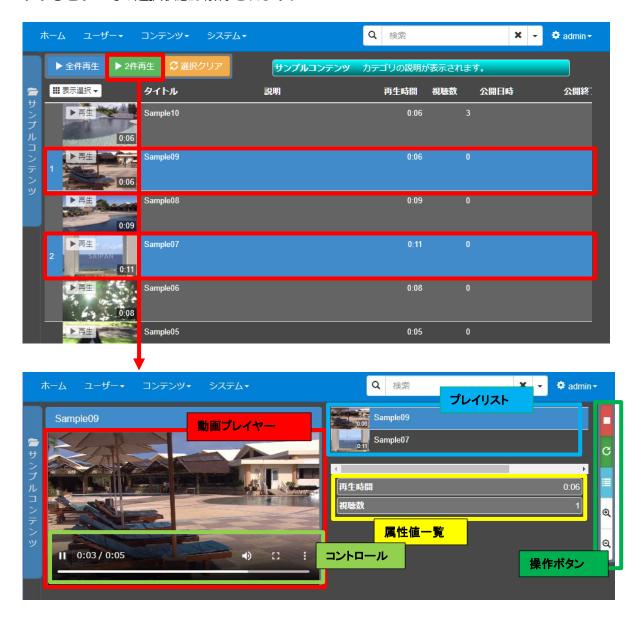


IV-6-2-2. コンテンツの視聴

コンテンツリストから再生したいコンテンツの行をクリックすると背景色が青に変わり、またサムネイルの左側に選択した順序が表示されます。この状態で上部の [〇件再生] ボタンをクリックすると選択したコンテンツを連続して再生することができます。

※○は選択したコンテンツの数

選択済みのコンテンツを再度クリックすると選択状態が解除されます。[選択クリア] をクリックするとすべての選択状態が解除されます。



操作説明書

動画プレイヤー	選択した動画が再生されます。
コントロール	再生に関する操作を行います。一定時間操作がない場合、コントロ
	ールは非表示となります。
	※コントロールの見た目は条件により変化することがあります
プレイリスト	選択中のコンテンツが一覧表示されます。クリックすることで再生
	するコンテンツを切り替えることができます。
属性値一覧	再生中の動画に関連付けられている属性値の一覧が表示されます。
	※タイトルは動画プレイヤー上部に表示されます
操作ボタン	コンテンツリストに戻ります。
	プレイリストの末尾まで再生したのち、先頭から再生を再開します。
	プレイリストの表示・非表示を切り替えます。
	動画プレイヤーのサイズを拡大、縮小します。 ある程度まで拡大するとプレイリスト、属性値一覧が動画プレイヤーの下側に回り込みます

IV-6-2-3. コンテンツの視聴(全件再生)

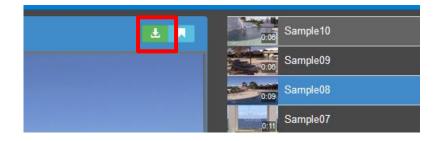
現在選択されているカテゴリに登録されているコンテンツ数が 100 件以下の場合は、「全件再生」ボタンが表示されます。 [全件再生] ボタンを押すと、コンテンツがリストの上から順番に再生されます。



IV-6-2-4. コンテンツのダウンロード

ログイン中のユーザーにダウンロード権限が与えられているコンテンツであれば、そのコンテンツの視聴画面の [プレイリスト] 内に [ダウンロード] ボタンが表示されます。このボタンを押すとリストに表示されている映像ファイルをダウンロードできます。

※ダウンロード権限が無い場合はこのボタンは表示されません。



コンテンツに添付ファイルが登録されている場合は [添付ファイルのダウンロード] ボタンも表示されます。このボタンを押すと添付ファイルをダウンロードできます。

IV-6-2-5. 添付ファイルのダウンロード

属性管理にて添付ファイル列を表示した状態で、そのコンテンツの視聴画面のリスト添付ファイルをダウンロードすることができます。

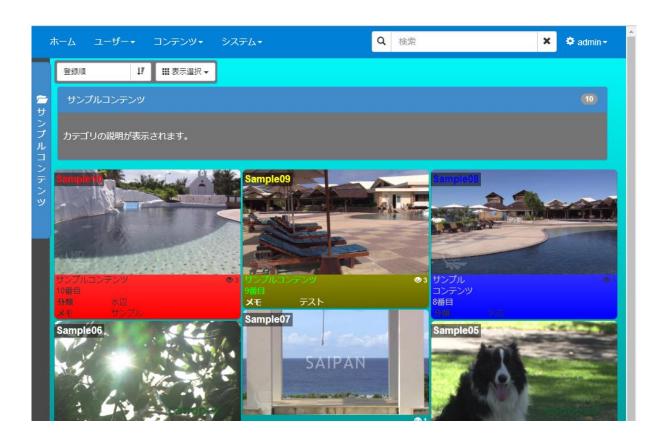


■ IV-6-3. ギャラリー

ギャラリーは標準プレイヤーとは異なる外観の視聴画面を提供します。

IV-6-3-1. コンテンツの一覧表示

カテゴリに含まれるコンテンツがタイル状に一覧表示されます。コンテンツの検索・ソート([■ **IV-4-10 コンテンツの検索・ソート**] を参照ください) を行うことができます。



IV-6-3-2. コンテンツの視聴

コンテンツを再生させる場合は、一覧からサムネイルをクリックします。

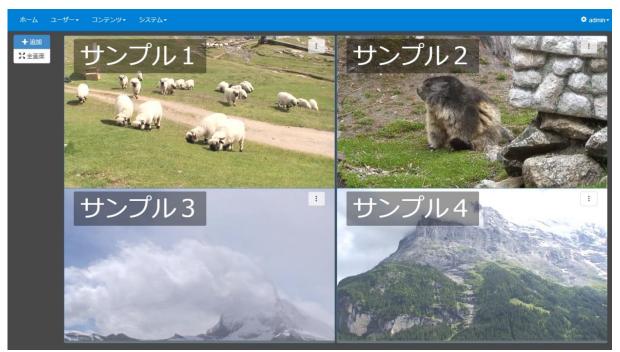




■ IV-6-4. マルチビデオプレイヤー

ここではマルチビデオプレイヤーの操作について説明します。

マルチビデオプレイヤーは複数のライブコンテンツを並べて再生できるプレイヤーです。ライブ映像の監視用途に使用することができます。



■コンテンツを4つ並べた状態

追加ボタンを押してコンテンツを選択すると選択したライブ映像が画面上に追加され、並べて表示されます。選択したコンテンツは記憶され、同じユーザーが再度マルチビデオプレイヤーを開いたときに復元されます。

※同時に再生できるコンテンツの数は再生に用いている端末の性能によります。

表示するコンテンツを変更するには、動画プレイヤーの右上 · ボタンを押して編集を選択します。削除するには、プレビュー上の右上 · ボタンを押して、削除を選択します。

全画面ボタンを押すと動画プレイヤーが全画面で表示されます。この時、動画プレイヤー周辺の 枠などは非表示となり、映像のみが並んだ状態となります。全画面状態を解除するには ESC キー を押下します。

■ IV-6-5. 公開期間外のコンテンツ

システム設定([■**IV-7-2 設定**]) で公開期間外のコンテンツを表示するように設定されている場合は [ホーム] ページに公開期間外のコンテンツが表示されます。



公開期間外のコンテンツをクリックした場合、メッセージが表示されコンテンツを再生することはできません。



IV-7. システム

メニューバーの [システム] カテゴリの各ページについて説明します。

■ IV-7-1. 状態

ログの取得とサーバーの各種状態を表示します。



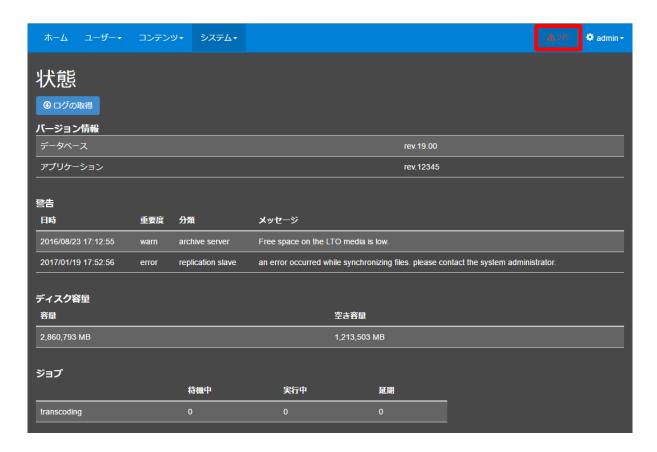
[ログの取得] をクリックするとサーバーの動作ログを zip 形式でアーカイブしたファイルを ダウンロードできます。当社サポートにお問い合わせの際にはこのログファイルを添付していた だきますと状況把握がスムーズになります。

[バージョン情報] 欄に本システムのバージョン情報が表示されます。データベースバージョンとアプリケーションバージョンがあります。

[ディスク容量] に本システムがデータ管理に使用しているストレージドライブの容量と空き容量情報が表示されます。大きなファイルを追加する際や大量のファイルを追加する際には空き容量が十分にあるかどうかを確認してください。

[ジョブ] 欄にはトランスコード処理またはアーカイブ処理(アーカイブオプションが有効の 場合)の進行状況が表示されます。待機中や延期されたジョブ数が増えていく場合は何らかの機 材トラブルが発生している可能性がありますので当社サポートにお問い合わせください。

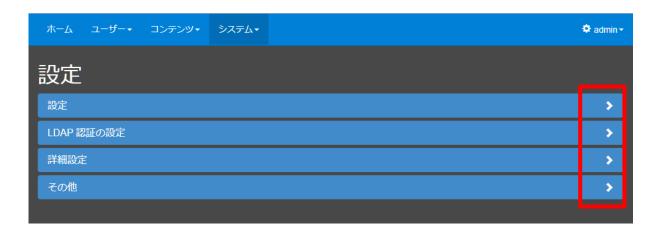
また、何らかの異常状態を検出するとこのページに警告やエラー情報が表示されます。



警告/エラーの件数はメニューバーにも表示され、メニューバーの警告/エラーの件数表示をクリックすると、状態ページに移動します。

■ IV-7-2. 設定

[設定] [LDAP 認証の設定] [詳細設定] [その他] の4つの項目に分かれています。それぞれの項目のタイトルもしくは右側の「>」をクリックすることで開閉することができます。



IV-7-2-1. 設定

[設定] を展開すると下記の項目が表示されます。



変更後、[適用] ボタンをクリックすることで変更内容が反映されます。

※ファビコンの登録、ブランドロゴの登録は適用ボタンではなく、各ダイアログの [OK] ボタンに続いて表示される確認ダイアログの [はい] をクリックした時点で反映されます。

■ 全体

設定項目名	説明
ファビコン	ファビコンファイルをアップロード、もしくは URL で指定するこ
	とができます。
	ファビコン × ファビコン × 日本 67ップロード O URL を指定 FA 17ップロード (*) IRL を指定
	日前 ピアップロート URLを指定 日前 ロアップロート ピ URLを指定 ファビコンとして登録するアイコンファイルを指定またはドロップしてください。 ファビコンの URL http://sample.mediaedge.jpfavicon.ico
	± ok
 ブランドロゴ	
	│ │しくは URL で指定することができます。
	 ※指定した画像は 50 ピクセルの高さで表示されます。また、横長の画像を指定した場
	合、右側が切れることがあります。
	ブランドロゴ × ブランドロゴ ×
	正介 ② アップロード ○ URL を指定 ○ 使用しない プランドロゴとして登録する画像ファイルを指定またはドロップしてください。
	▶ 72-7 /// 温沢
	±ok ≠ャンセル
ブランド名 	メニューバーの左端に表示される [ホーム] ページへのリンクの文
	字列を指定します。ブランドロゴ、ブランド名とも指定されていな
	い場合は「ホーム」と表示されます。
ブランド URL	[ホーム] ページ表示中にブランドロゴ・ブランド名をクリックし
	た時のリンク先 URL を設定することができます。
	※ [ホーム] ページ表示中でない場合は [ホーム] ページへのリンクとなります。
スタイル	スタイル(配色)を [グレー] [ホワイト] [ウグイス] [ブラック]
	から選択します。
検索表示	メニューバーの検索機能の表示を選択します。
	検索窓: × -
	検索ボタン: Q属性検索 全件表示
認証方式	ローカル認証または LDAP 認証(■ IV-3-8 LDAP 認証の設定 を
	参照ください)を選択します。
カテゴリ制限設定	有効にするとユーザーグループ毎に [ホーム] ページに表示される
	カテゴリを設定することができます。設定は [コンテンツ管理] ペ
	ージのカテゴリの編集で行うことができます。
視聴権限設定	有効にするとユーザーグループまたはユーザー毎に [ホーム] ペー
	ジに表示されるコンテンツを設定することができます。設定は[コ
	ンテンツ管理] ページで行うことができます。

操作説明書

編集権限設定	有効にするとユーザーグループ毎に [コンテンツ管理] ページで操
	作できる権限を設定することができます。権限の設定は[コンテン
	ツ管理] ページで行うことができます。
埋め込みコードのホスト名	[コンテンツ管理] ページで発行する埋め込みコード内に使用され
	るホスト名を指定します。空欄であれば現在アクセス中の URL 中
	のホスト名が使用されます。
自動書き込み LTO サーバー	ライブ映像の録画時や VOD コンテンツのアップロード時に自動的
	にアーカイブも実行する様に設定されている場合、書き込み先とし
	てここで指定された LTO サーバーを使用します。
	※この機能はアーカイブオプションが有効の場合のみ表示されます。
同時接続制限	コンテンツを同時に再生できる数を設定します。

■ 視聴画面

設定項目名	説明
コンテンツの並び替えの初	視聴画面を表示した直後のコンテンツの並び替えに用いる属性を
期値	選択します。また、[昇順] [降順] を指定することができます。初
	期値は「登録順」「降順」です。
	※登録順:コンテンツ登録を行った順
公開期間外のコンテンツ	コンテンツに [公開期間] が設定されている場合に、まだ公開期間
(期間前)	になっていないコンテンツを視聴画面に表示する/しないを設定し
	ます。
公開期間外のコンテンツ	コンテンツに [公開期間] が設定されている場合に、既に公開期間
(期間後)	を過ぎてしまっているコンテンツを視聴画面に表示する/しないを
	設定します。
カテゴリ表示	視聴画面左端にカテゴリ選択のサイドバーを表示する/しないを設
	定します。非表示にした場合、常に「全てのコンテンツ」カテゴリ
	が表示されます。
「全てのコンテンツ」カテ	視聴画面に「全てのコンテンツ」カテゴリを表示する/しないを設
ゴリを表示	定します。非表示にしている場合はコンテンツを登録後に何らかの
	カテゴリに登録するまでそのコンテンツは視聴画面に表示されま
	せん。

IV-7-2-2. LDAP 認証の設定

LDAP サーバーと連携するために必要な設定を行います。詳しくは[■ IV-3-8. LDAP 認証の設定] を参照ください。

IV-7-2-3. 詳細設定

MMDS のサーバー内部の動作に関わる設定を行います。変更後、[適用] ボタンをクリックすることで変更内容が反映されます。

設定項目名	説明
素材管理フォルダのメンテ	サーバー内の素材管理フォルダのメンテナンスを行うタイミング
ナンス	を指定します。
	※メンテナンスを実行するとサーバー内部の素材管理フォルダ以下に、データベースに 登録されていないファイルが存在していないかチェックし、削除します。
	実行しない:メンテナンスを実行しません。
	次回起動時:次回サーバー再起動時にメンテナンスを実行します。
	実行後、[素材管理フォルダのメンテナンス]の値は自動的に「実
	行しない」に変更されます。
	毎起動時:サーバー再起動毎にメンテナンスを実行します。
録画中のファイル削除の抑	有効にすると、録画の実行中にはサーバーの素材管理フォルダから
制	実ファイルの削除を行わず、録画が終わった後にまとめて削除する
	ようになります。これにより、実ファイルの削除によるストレージ
	の負荷が録画に影響することを避けることができます。
	この場合、[コンテンツ管理] ページから削除されたコンテンツは
	データベース上で削除済み扱いとなり、[ホーム] ページや [コン
	テンツ管理] ページから表示されなくなります。

IV-7-2-4. その他

[視聴数のリセット]: 既定属性である VOD コンテンツの「視聴数」を一括でゼロリセットします。

■ IV-7-3. 操作履歴

再生やコンテンツの削除といったユーザー操作の履歴を一覧表示することができます。また、指 定した条件に基づいてユーザー操作を集計し、表やグラフを作成することができます。

IV-7-3-1. 一覧表示

操作履歴を日時の降順で表示します。期間・操作内容・コンテンツ名・ユーザー名を指定して操作履歴を絞り込むことができます。



IV-7-3-2. 統計

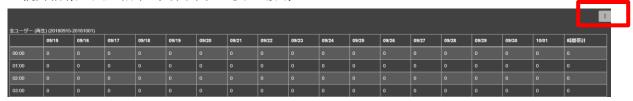
統計を作成するには「統計」タブをクリックし、「新規統計の作成」ボタンを押下します。



期間・集計の単位・操作内容・コンテンツ名・ユーザー名、表示形式などを設定し、「作成」ボタンを押下します。

※ [集計] として「時間単位」を選択した場合は、表のみ作成することができます。

・統計情報の出力結果 (時間単位の表の場合)

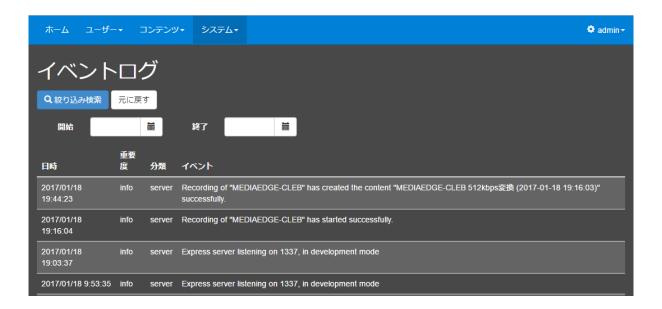


統計を作成すると、表またはグラフが表示されます。右上の3点メニューボタンから集計データをCSV形式のファイルとしてダウンロードすることができます。

MEDIAEDGE

■ IV-7-4. イベントログ

システムで発生したイベントを日時の降順で表示します。また、期間を指定してイベントログ を絞り込むことができます。



■ IV-7-5. LTO (オプション)

アーカイブオプションが有効の場合に表示されます。



LTOページではLTOサーバーに対してテープの取り出し、フォーマットを行うことができます。

IV-7-5-1. テープのフォーマット

新しいテープを使用する際には、まず、テープのフォーマットを実行してください。

[フォーマット] ボタンを押して、以下のウィンドウでテープ情報を入力後、[開始] ボタンを押して下さい。 [メディア ID] には、通常、テープのラベルの先頭 6 文字を設定します。タイトルにはメディア ID とは別に任意の文字列を設定することができます。



■ [フォーマット] ウィンドウ

IV-7-5-2. テープ一覧

操作ボタンの下にはこれまで使用したテープ情報の一覧が表示されます。

過去に利用したテープに書き込まれたコンテンツのリストを [アーカイブ済みコンテンツ一覧] ボタンで表示することができます。

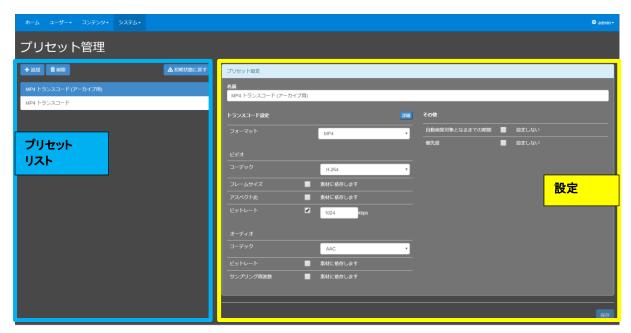
[テープの破棄] ボタンを押すと、指定されたテープにアーカイブされているコンテンツの情報及びテープ自体の情報を削除します。

IV-7-5-3. テープの取り出し

ページの上部には現在挿入されているテープの空き容量が表示されます。空き容量が少なくなってきた、または完全に無くなった場合には[取り出し]ボタンから一杯になったテープを取り出して新しいテープをLTO サーバーに挿入してください。

■ IV-7-6. プリセット管理

[コンテンツの編集]、[コンテンツ管理] ページでファイルをトランスコードする際に利用できるプリセットを作成します。



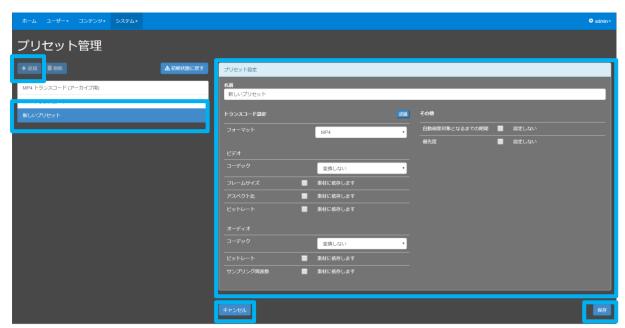
プリセットリスト	登録されているプリセットのリストを表示します。
	プリセットの作成、削除、初期状態に戻す操作を行えます。
設定	プリセットリストで選択されているプリセットの内容を表示します。

IV-7-6-1. プリセットリスト

プリセットリスト上ではプリセットの作成、編集、削除、初期状態に戻す操作を行えます。

IV-7-6-1-1. プリセットの作成

プリセットを新規に作成するには、プリセットリスト上の[追加]ボタンを押下します。 [新しいプリセット] として新規にプリセットが作られます。

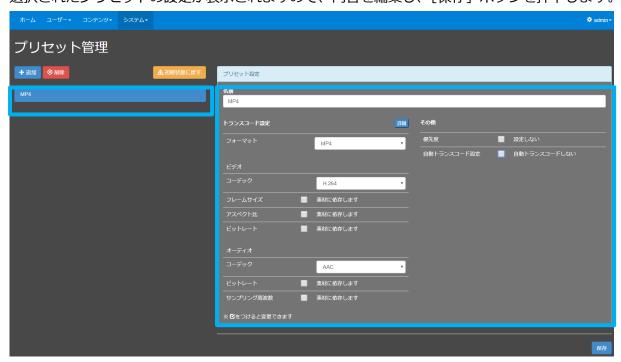


[プリセット設定] 内の各設定値を設定、名前を任意の名前に変更し、[保存] ボタンを押下すると、プリセットを新規作成することができます。

[キャンセル] を押下すると、新規作成操作がキャンセルされます。

IV-7-6-1-2. プリセットの編集

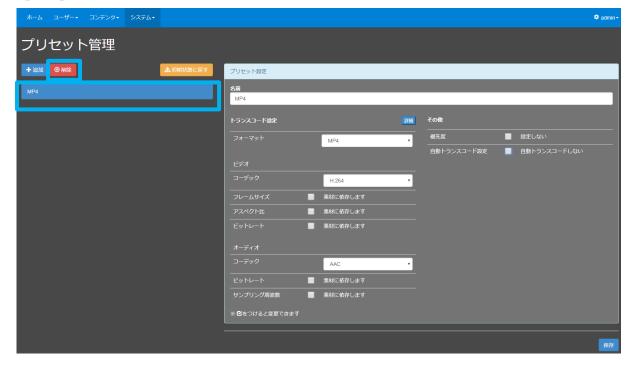
プリセットを編集するには、編集したいプリセットをプリセットリスト上で選択します。 選択されたプリセットの設定が表示されますので、内容を編集し、[保存] ボタンを押下します。



IV-7-6-1-3. プリセットの削除

プリセットを削除するには、削除したいプリセットをプリセットリスト上で選択します。

[削除] ボタンを押下すると、削除することができます。



操作説明書

IV-7-6-1-4. 初期状態に戻す

[初期状態に戻す] ボタンを押下すると、プリセットリストは本システムを導入した初期状態に 戻ります。

IV-8. LTO へのアーカイブ (オプション)

[コンテンツ管理] - [アーカイブ] を選択してアーカイブページに移動し、[+追加] ボタンを押します。

※アーカイブオプションが有効の場合に表示されます。



■ IV-8-1. 期間から書き出すコンテンツを抽出する

LTO にアーカイブするコンテンツを期間指定で検索します。



■ [新規アーカイブ] ウィンドウ

操作説明書

指定した期間に登録されたコンテンツ一覧が表示されるので、アーカイブしたいコンテンツに [**√**] を入れます。コンテンツを選択後 [アーカイブの開始] ボタンを押してアーカイブを実行します。



■ [新規アーカイブ] ウィンドウ (コンテンツ選択後)

[カテゴリを移動させる]をチェックし、移動先のカテゴリを選択することでアーカイブしたコンテンツを指定されたカテゴリに移動させることもできます。

■ IV-8-2. LTO テープへコンテンツを書き出す

アーカイブの実行経過が表示されます。[キャンセル] ボタンを押すと、アーカイブが中断されます。



アーカイブが完了すると右端に緑の[完了]ボタンが表示されます。結果を確認し[完了]ボタンを押すとアーカイブ表示が消去されます。

アーカイブされたコンテンツの動画ファイルはサーバー上から削除されますが、保管先の情報 (テープ ID やファイル名等) はデータベースに残り管理されます。

アーカイブすることにより、サーバーのディスク空き容量を増加させることができます。



※構成によっては、アーカイブ後に一定期間動画ファイルがサーバー上に残るようになっている場合があります。

操作説明書

[コンテンツ管理] ページでは、アーカイブ済みのコンテンツは、コンテンツの詳細のサムネイル表示領域に[アーカイブ済] と黄色表示されます。



[ホーム] ページでは、サムネイル表示領域に [アーカイブ済] と表示されます。



アーカイブ済みコンテンツをクリックすると下のようなウィンドウが表示され、再生は行われません。



■ IV-8-3. LTO テープからコンテンツを読み出す

[コンテンツ管理] ページで、VOD コンテンツのファイルがアーカイブされサーバー上に存在していない場合、「再生可能なファイルがありません」と表示されます。



コンテンツ詳細ダイアログの [ファイル] タブに [リストア] ボタンが表示され、LTO テープ からのリストア (コンテンツ・ファイルの読み出し) が可能になります。



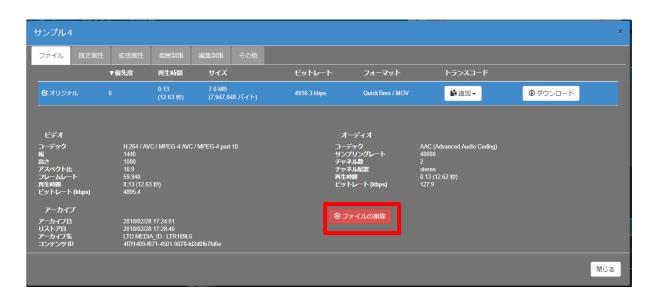
[リストア] ボタンを押して表示されるウィンドウで [開始] ボタンを押すと、LTO テープからコンテンツ・ファイルが読み出され、再登録されます。以後、コンテンツの再生、ダウンロードが再度可能となります。



■ [リストア] ウィンドウ

操作説明書

リストア実行後、ファイルタブには[リストア]ボタンの代わりに[ファイルの削除]ボタンが表示されます。このボタンを押すとサーバー上から動画ファイルが削除され再生ができなくなり、 [リストア]ボタンからリストア可能な状態に戻ります。



リストア操作によりファイルがサーバー上に存在している時は [ホーム] ページでは白背景に黒文字で [アーカイブ済み] と表示され、再生可能な状態に戻ります。



V. Appendix

V-1. 動作確認済みネットワークカメラ

■動作確認済みネットワークカメラ

メーカー名	ネットワークカメラの型番
Panasonic	WV-SF135、WV-SF138、AW-HE55
SONY	SNC-XM631、SNC-VB600、SNC-VB630
AXIS	Q7401、M7016、M7001

2015年11月現在